

公 告

下記により一般競争入札を実施するので、「入札及び契約心得」を熟知の上参加されたい。

契約担当官
航空自衛隊第2補給処業務部
会計課長 中 村 匡利

記

1 入札に付する事項

件 名	履行場所	履行期間	備 考
消防設備保守点検役務	航空自衛隊岐阜基地	契約締結日～令和9年3月31日	

2 競争執行の場所及び日時

- (1) 場 所 岐阜県各務原市那加官有地無番地 航空自衛隊岐阜基地 厚生センター1階
(2) 日 時 令和8年6月24日(水) 09:00

3 適用する契約条項(航空自衛隊標準契約条項 役務供給契約条項及び適用契約条項並びに暴力団排除に関する特約条項(工事以外))を示す場所は航空自衛隊岐阜基地ホームページの岐阜基地会計調達情報欄

4 参加資格

- (1) 予算決算及び会計令第70条及び71条の該当者でないこと。
(2) 令和7、8、9年度競争参加資格(全省庁統一資格)の競争参加地域「東海・北陸」で営業品目「役務の提供等 D以上」の資格を有する者
(3) 防衛装備庁長官又は航空幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
(4) 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であつて、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
(5) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めないものとする。ただし、真にやむを得ない事由を防衛装備庁長官が認めた場合にはこの限りではない。

5 入札方法

落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係わる課税業者であるか免税業者であるかを問わず見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

6 保証金

- (1) 入札保証金：予決令第77条第2号により免除
(2) 契約保証金：予決令第100条の3第3号により免除
(3) 入札保証金の納付を免除した場合において、落札者が契約を結ばないときは入札保証金相当額(見積もる契約金額の100分の5以上)を徴収する。

7 決定方法 総額決定(予定価格の制限の範囲内で最低価格を入札した者を契約の相手とする。)

8 契約方法 確定契約

9 入札の無効 4の参加資格のない者の行った入札及び入札に関する条件に違反した入札は、無効とする。

10 説明会 無

11 契約(請)書作成の有無 有

12 その他

- (1) 郵便入札の場合は、入札書右上段に「郵便」又は「〒」と記入し、担当宛に郵送すること。
ただし、入札書は 令和8年6月23日(火)17時 まで到達しない場合は無効とする。
なお、1回目の入札が不調となった場合は、2回目以降の入札では「辞退」扱いになるため承知されたい。
(2) 代理入札者については委任状を提出のこと。
(3) 入札参加者は入札開始前までに資格審査結果通知書の写しを提出すること。
(4) 入札書に記載された金額の100分の110に相当する金額に1円未満の端数がある時、その端数金額を切り捨てるものとする。
(5) 本公告の記載事項の詳細については、業務部会計課(Tel 058-382-1101 内線 2915)担当 藤原(ふじわら)まで。

入 札 書

下記のとおり「入札及び契約心得」を承諾のうえ、入札致します。

令和8年6月24日

契約担当官
航空自衛隊第2補給処業務部
会計課長

殿

住 所
会社名
代表者名

印

記

履行期間	契約締結日～令和9年3月31日	履行場所			航空自衛隊岐阜基地	
品名（件名）	規 格	単位	数量	単価	金 額	備 考
消防設備保守点検役務	仕様書のとおり	式	1			
	ー以下余白ー					

注 1. 語句を訂正するときは2線にて抹消し訂正印（代表者名に使用した印）を捺印のこと

委任状

令和8年6月24日

契約担当官
航空自衛隊第2補給処業務部
会計課長

殿

(委任者)
住 所
社 名
代 表 者

印

私は、下記の者を代理人と定め、下記件名の入札に関する一切の権限を委任します。

- | | |
|--------|-----------------|
| 1 件名 | 消防設備保守点検役務 |
| 2 履行期間 | 契約締結日～令和9年3月31日 |
| 3 履行場所 | 航空自衛隊岐阜基地 |

(代理人)
住 所
氏 名

代理人使用印鑑

入札資料送付

業者各位 殿

〒504-8701
岐阜県各務原市那加官有地
航空自衛隊岐阜基地第2補給処業務部
会計課 契約班 担当: 藤原
TEL: 058-382-1101 (内線2915)
FAX: 058-382-1101 (内線5961#)
メール: FUJIWARAc1c@inet.aci.mod.go.jp

下記のとおり一般競争入札を実施しますので、お手数ですが入札参加の有無等をご記入の上 F A X にて返信をお願いします。

件名 : 消防設備保守点検役務
履行期間 : 契約締結日～令和9年3月31日
履行場所 : 航空自衛隊岐阜基地
入札日時 : 令和8年6月24日 (水) 9:00
入札実施場所 : 岐阜県各務原市那加官有地 航空自衛隊岐阜基地 厚生センター 1 階
参加資格 : 公告記載のとおり
その他 : ※ 参加の有無等下記事項を記入の上、F A X にて返信してください。
※ 市場価格調査表の提出期限: 令和8年6月18日
※ 資格通知書の写しを F A X 又は持参により提出して下さい。
現場確認及び仕様書担当 : 福森 (内線: 5933)

参加の有無	有	・	無
参加方法	郵便入札	・	当日参加

辞退理由

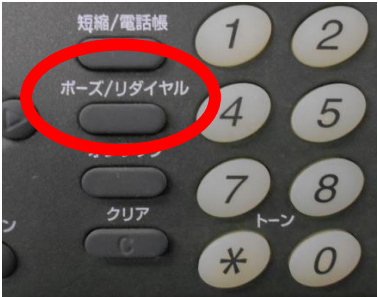
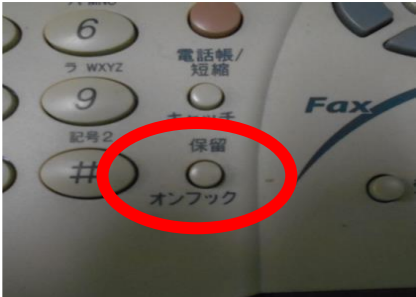
業者名

連絡先

担当者名

部外から第2補給処岐阜基地へFAXを送信する方法

令和8年4月17日0800以降下表のとおり

区分	ボタンFAX電話一体型(受話器有りタイプ)	業務用FAX(受話器無しタイプ)	
外観			
番号操作	058-382-1101+ <u>5961#</u> 	※ 058-382-1101+PPPPP+ <u>5961#</u> ※ポーズ/リダイヤルボタン	オンフック+058-382-1101+ <u>5961#</u> ※オンフックボタン又はモニター、スピーカーボタン
送信要領	① 原稿をセット ② 受話器を上げ基地代表番号をダイヤル ③ 音声ガイダンスが流れるので内線番号を入力 ④ 「ピー、ピー」というFAX信号を確認後、「スタート又はファックス」ボタンを押し受話器を下す。 ⑤ FAXが送信されます。	① 原稿をセット ② 岐阜基地代表番号を入力、続けて「ポーズ/リダイヤル」ボタンを6回押した後、内線番号入力して「スタート又はファックス」ボタンを押す。 ③ 音声ガイダンス開始後に内線番号(ピ・ポ・パ)と送出されFAXが送信されます。	① 原稿をセット ② オンフックボタンを押し、岐阜基地代表番号を入力 ③ 音声ガイダンス開始後に内線番号を入力 ④ 「ピー、ピー」というFAX信号を確認した後、「スタート又はファックス」ボタンを押す。
機能ボタンの一例			

市場価格調査書（部分見積）	
令和8年6月	日
契約担当官 航空自衛隊第2補給処業務部 会計課長	殿
住 所 会社名 代表者名	印
記	

記

注 1.	語句を訂正するときは2線にて抹消し訂正印(代表者名に使用した印)を捺印のこと
注 2.	市場価格調査(市価)は消費税及び地方消費税抜きの金額です。
注 3.	諸経費を除く金額です。

内 訳 書

N o	品 名	規 格	単位	数量	単 価	金 額	備 考
	消防設備保守点検役務						
	【作業場所1】						
1	直接人件費						
(1)	検体採取後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	266.33			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	266.33			
(2)	薬剤（日本ドライケミカルたん白泡耐寒3%）	仕様書のとおり	L	1.00			
3	薬剤サンプリング検査	仕様書のとおり	式	1.00			
4	エアフォームチャンバー点検	仕様書のとおり	台	1.00			
	【作業場所2】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	1,169.81			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	1,169.81			
	【作業場所3】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	1,184.44			
2	泡モニター点検	仕様書のとおり	台	6.00			
3	遠隔操作弁ユニット点検	仕様書のとおり	台	6.00			
4	泡消火設備操作盤点検	仕様書のとおり	台	1.00			
5	高所作業車	仕様書のとおり	台	1.00			
6	廃液処分量	仕様書のとおり	L	1,184.44			

	【作業場所4】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	510.28			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	510.28			
(2)	薬剤（フカダフロロウォーターF）	仕様書のとおり	L	15.31			
	【作業場所5】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	486.28			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	486.28			
	【作業場所6】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	486.28			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	486.28			
	【作業場所7】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	523.28			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	523.28			
(2)	薬剤（フカダフロロウォーターF）	仕様書のとおり	L	15.70			

	【作業場所8】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	366.28			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	366.28			
	【作業場所9】						
1	直接人件費						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	869.31			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	869.31			
(2)	薬剤（フカダフロロウォーターF）	仕様書のとおり	L	26.08			
	【作業場所10】						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	446.75			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	446.75			
	【作業場所11】						
(1)	発泡試験後の泡消火薬剤充填	仕様書のとおり	式	1.00			
(2)	区画の養生	仕様書のとおり	式	1.00			
(3)	廃液回収・搬出	仕様書のとおり	L	695.58			
2	直接物品費						
(1)	廃液処分量	仕様書のとおり	L	695.58			
(2)	薬剤（フカダフロロウォーターF）	仕様書のとおり	L	19.79			

役 務 仕 様 書

- 1 役務件名 消防設備保守点検役務
- 2 整理番号 施 1 6
- 3 作成年月日 令和 8 年 6 月 2 日
- 4 作成部隊名 第 2 補給処業務部施設課
- 5 履行場所 航空自衛隊 岐阜基地（別図第 1 参照）
- 6 役務概要

下表に示す消防設備の関係法令に基づく機器点検及び総合点検

	消防設備	点検項目	備 考
作業場所 1	泡消火設備	別紙第 1	別図第 2、別図第 3
作業場所 2			別図第 4
作業場所 3			別図第 5、別図第 6
作業場所 4			別図第 7
作業場所 5		別紙第 2	別図第 8
作業場所 6			別図第 9
作業場所 7			別図第 1 0
作業場所 8			別図第 1 1
作業場所 9		別紙第 3	別図第 1 2
作業場所 1 0			別図第 1 3
作業場所 1 1			別図第 1 4
作業場所 1 2	不活性ガス（二酸化炭素）消火設備	別紙第 4	別図第 1 5、別図第 1 6
作業場所 1 3			別図第 1 7
作業場所 1 4	ハロゲン化物消火設備	別紙第 5	別図第 1 8、別図第 1 9

7 一般事項

- （1）本役務は、本仕様書及び図面によるほか、建築保全業務共通仕様書（令和 5 年版）及び関係法令に準拠して実施するものとする。
- （2）本役務の統制事項及び書類手続きは、監督官の指示によるものとする。
- （3）履行に際し、作業全般に関する監督官との打合せ及び監督官立会いによる現場確認を、作業実施日より前に行うものとする。
- （4）請負業者は現場代理人を設定し、作業日は現場立会いをさせるものとする。
- （5）本役務に使用する資材等は未使用品とし、監督官の指示する場所に搬入したのち、検査（材料検査）を受け、合格した物を使用するものとする。
- （6）役務写真
 - ア 役務写真は役務写真帳に整理のうえ、提出するものとする。
 - イ 作業等の写真は、監督官の指示により黒板等に作業内容等を記載し、撮影するものとする。
 - ウ 撮影したデータ及び写真は役務完了後すべて破棄し、流出防止に努めるものとする。

(7) 履行にあたり、建物、工作物及びその他に損害を与えないための必要な措置をとるとともに、万一、損害を与えた場合は、請負業者の負担にて原状に復するものとする。

(8) その他不明な点は、監督官と協議するものとする。

(9) 設計図書等の管理

ア 請負業者は、設計図書等を該当役務関係者以外に貸出し、複写、閲覧させないものとする。

イ 請負業者は、設計図書等を役務完了後すべて監督官に返納するものとする。

8 特記事項

(1) 履行に際し、日々、作業計画書（任意様式）を作成し作業員全員に周知させたのち、監督官へ提出し、確認を受けるものとする。また、作業計画書に記載なき作業等が発生した場合は、監督官と打合せのうえ実施するものとする。

(2) 点検に必要な資機材等は、請負業者の負担にて準備するものとし、監督官の指示する場所に搬入するものとする。

(3) 作業場所 1 の薬剤は薬剤サンプリング検査とし、検体の採取は監督官立会いのもと実施するものとする。

(4) 作業場所 1 における放水試験は、監督官の指示する場所に放出用の受水槽を設置し、泡ノズルより放水するものとする。

(5) 作業場所 2 ～ 1 1 における発泡試験は、監督官の指示する場所に放出用の受水槽を設置し、泡ノズルより泡を放出するものとする。

(6) 履行にあたり、発生した泡消火薬剤混合液は産業廃棄物処理処分とし、関係法令に基づき適正に処分するものとする。

(7) 薬剤サンプリング検査及び発泡試験後に充填する泡消火薬剤は、請負業者負担とし、下表のとおりとする。

	品名等	充填量（基準）
作業場所 1	たん白泡消火薬剤 耐寒 3 % たん白泡 3 %（日本ドライケミカル株式会社製）	1 L
作業場所 4	フカダフロロウォーター F（深田工業株式会社製）	1 5 . 3 1 L
作業場所 7	フカダフロロウォーター F（深田工業株式会社製）	1 5 . 7 0 L
作業場所 9	フカダフロロウォーター F（深田工業株式会社製）	2 6 . 0 8 L
作業場所 1 1	フカダフロロウォーター F（深田工業株式会社製）	1 9 . 7 9 L

(8) 作業場所 3 における炎感知器の点検は、一部高所作業車を使用し実施するものとする。

(9) 作業場所 2、3、5、6、8 及び 1 0 において発泡試験後に充填する泡消火薬剤は官給品を使用するものとする。

- (10) 作業場所 1 2 ～ 1 4 の放出試験は、窒素ガス（請負業者負担）を使用するものとする。
- (11) 点検終了後、消防法で定められた点検結果報告書（3 部）を提出するものとする。
また、薬剤サンプリング検査については、薬剤サンプリング検査結果報告書（3 部）を提出するものとする。

泡消火設備

項目 \ 作業場所	1	2	3	4	備 考
加圧送水装置	1 組	1 組	1 組	1 組	
起動用スイッチ	1 2 組	4 組	5 組	2 組	
制御盤	1 面	1 面	1 面	1 面	
一斉開放弁（水成膜用）			1 個		
泡消火薬剤貯蔵槽（操作部含む）	1 基	1 基	1 基	2 基	
泡消火薬剤混合装置	1 組	1 組	1 組	2 組	
泡放射用器具格納箱（非内蔵）	1 2 組	4 組	5 組		
泡放射用器具格納箱（内蔵）				2 組	
呼水装置	1 組	1 組	1 組	1 組	
水源（貯水槽、給水装置、バルブ類等）	1 組	1 組	1 組	1 組	
炎感知器			5 1 個		一部高所作業車使用（2 個）
発泡試験		1 式	1 式	1 式	
薬剤サンプリング検査	1 式				
放水試験	1 式				
エアフォームチャンバー点検	1 台				
泡モニター点検			6 台		
遠隔操作ユニット点検			6 台		
泡消火設備操作盤点検			1 台		
絶縁抵抗測定及び配線点検	1 式	1 式	1 式	1 式	
薬剤含有水溶液等処理（概算数量）	267 L	1, 170 L	1, 185 L	511 L	

泡消火設備

項目 \ 作業場所	5	6	7	8	備 考
加圧送水装置	1 組	1 組	1 組	1 組	
起動用スイッチ	3 組	3 組	2 組	1 組	
制御盤	1 面	1 面	1 面	1 面	
一斉開放弁（水成膜用）					
泡消火薬剤貯蔵槽（操作部含む）	3 基	3 基	2 基	1 基	
泡消火薬剤混合装置	3 組	3 組	2 組	1 組	
泡放射用器具格納箱（非内蔵）					
泡放射用器具格納箱（内蔵）	3 組	3 組	2 組	1 組	
呼水装置	1 組	1 組	1 組	1 組	
水源（貯水槽、給水装置、バルブ類等）	1 組	1 組	1 組	1 組	
炎感知器					
発泡試験	1 式	1 式	1 式	1 式	
薬剤サンプリング検査					
放水試験					
エアフォームチャンバー点検					
泡モニター点検					
遠隔操作ユニット点検					
泡消火設備操作盤点検					
絶縁抵抗測定及び配線点検	1 式	1 式	1 式	1 式	
薬剤含有水溶液等処理（概算数量）	487 L	487 L	524 L	367 L	

泡消火設備

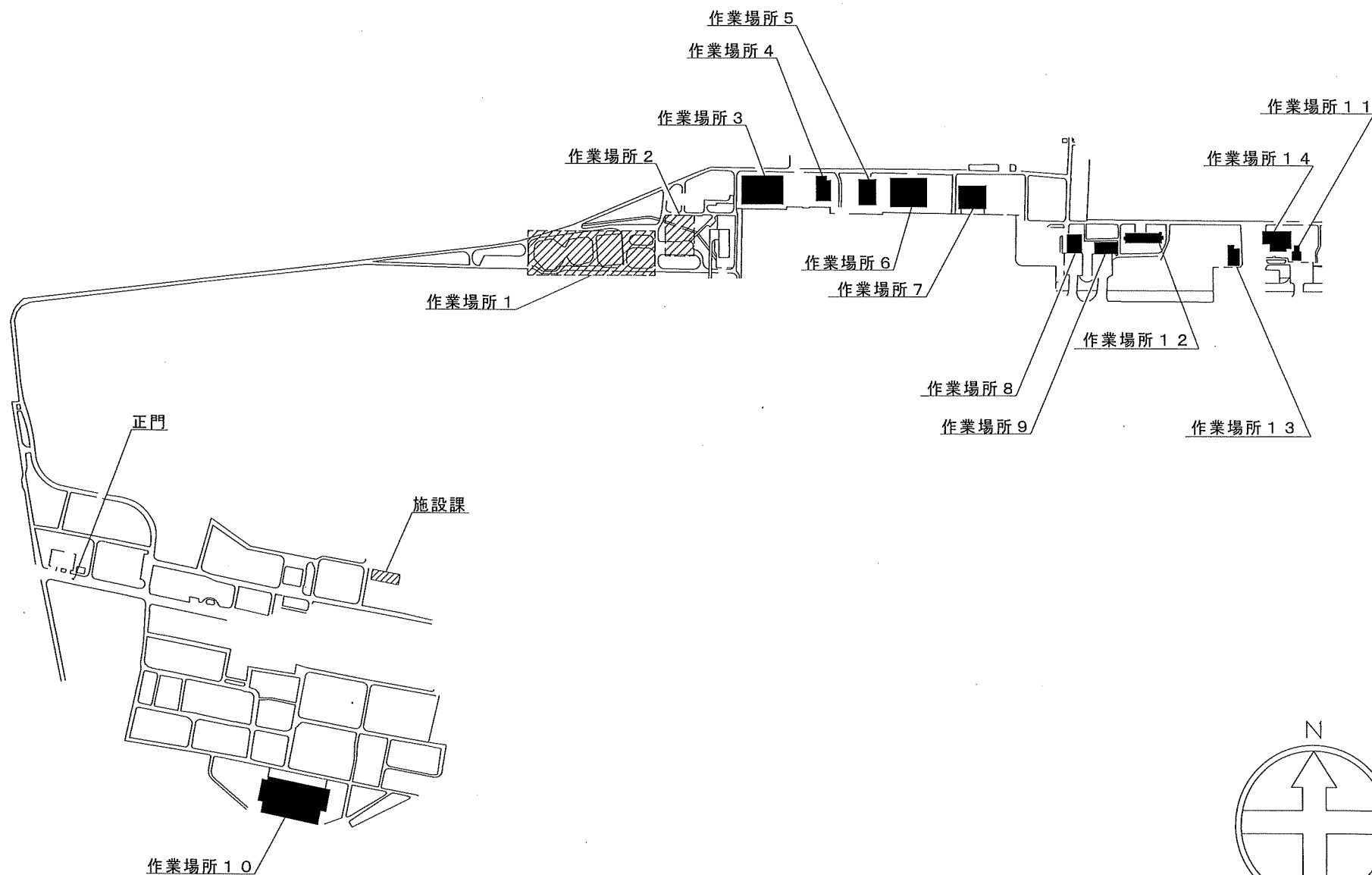
作業場所 項目	9	1 0	1 1	備 考
加圧送水装置	1 組	1 組	1 組	
起動用スイッチ	2 組	1 3 組	2 組	
制御盤	1 面	1 面	1 面	
一斉開放弁（水成膜用）				
泡消火薬剤貯蔵槽（操作部含む）	1 基	1 基	1 基	
泡消火薬剤混合装置	1 組	1 組	1 組	
泡放射用器具格納箱（非内蔵）	2 組	1 3 組	2 組	
泡放射用器具格納箱（内蔵）				
呼水装置	1 組	1 組	1 組	
水源（貯水槽、給水装置、バルブ類等）	1 組	1 組	1 組	
炎感知器				
発泡試験	1 式	1 式	1 式	
薬剤サンプリング検査				
放水試験				
エアフォームチャンバー点検				
泡モニター点検				
遠隔操作ユニット点検				
泡消火設備操作盤点検				
絶縁抵抗測定及び配線点検	1 式	1 式	1 式	
薬剤含有水溶液等処理（概算数量）	870 L	447 L	696 L	

不活性ガス（二酸化炭素）消火設備

項目 \ 作業場所	1 2	1 3	備 考
消火薬剤貯蔵容器	4 6 基	1 8 基	二酸化炭素
容器弁開放装置（電磁式）	9 個	3 個	
容器弁開放装置（ガス圧式）	4 6 個	1 5 個	
起動用ガス容器	9 個		
起動用操作箱	9 個	2 個	
音響装置	1 0 組	2 組	
制御盤	1 面（9 回線）	1 面（2 回線）	（回線数）
音声盤	1 面		
表示板	1 面		
電源装置	1 組	1 組	
圧力スイッチ	9 個	2 個	
逆止弁	2 個		
開口部自動閉鎖装置	9 個	2 個	
放出表示灯箱	2 6 個	3 個	
選択弁	9 個		
ヘッド	5 3 個	1 9 個	
作動試験	1 式	1 式	
放出試験	1 式（2.72 m ³ ）	1 式（0.25 m ³ ）	（窒素ガス使用量）
容器搬入	1 式	1 式	試験用容器
絶縁抵抗測定及び配線点検	1 式	1 式	
差動式分布型感知器	4 個		
定温式スポット型感知器	3 8 個		
煙感知器	3 3 個		

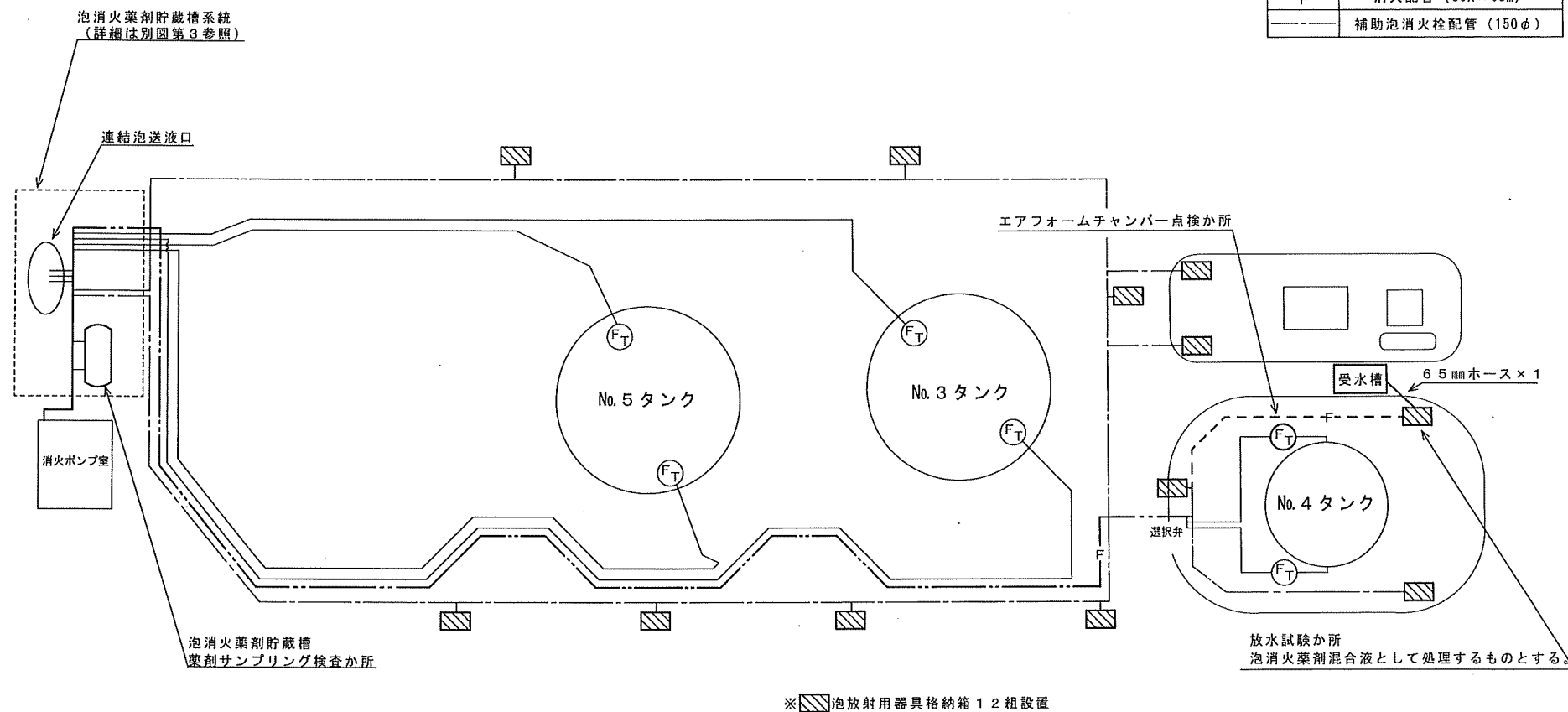
ハロゲン化物消火設備

項目 \ 作業場所	1 4	備 考
消火薬剤貯蔵容器	1 2 0 基	ハロン 1 3 0 1
容器弁開放装置（電磁式）	4 個	
容器弁開放装置（ガス圧式）	1 2 0 個	
起動用ガス容器	4 個	
起動用操作箱	6 個	
音響装置	1 6 組	
制御盤	1 面（4 回線）	（回線数）
音声盤	2 面	
表示板	1 面	
電源装置	1 組	
圧力スイッチ	4 個	
逆止弁	3 個	放出区画のみ
開口部自動閉鎖装置	3 3 個	
放出表示灯箱	1 7 個	
選択弁	5 個	
ヘッド	9 0 個	
作動試験	1 式	
放出試験	1 式（0.16 m ³ ）	（窒素ガス使用量）
絶縁抵抗測定及び配線点検	1 式	



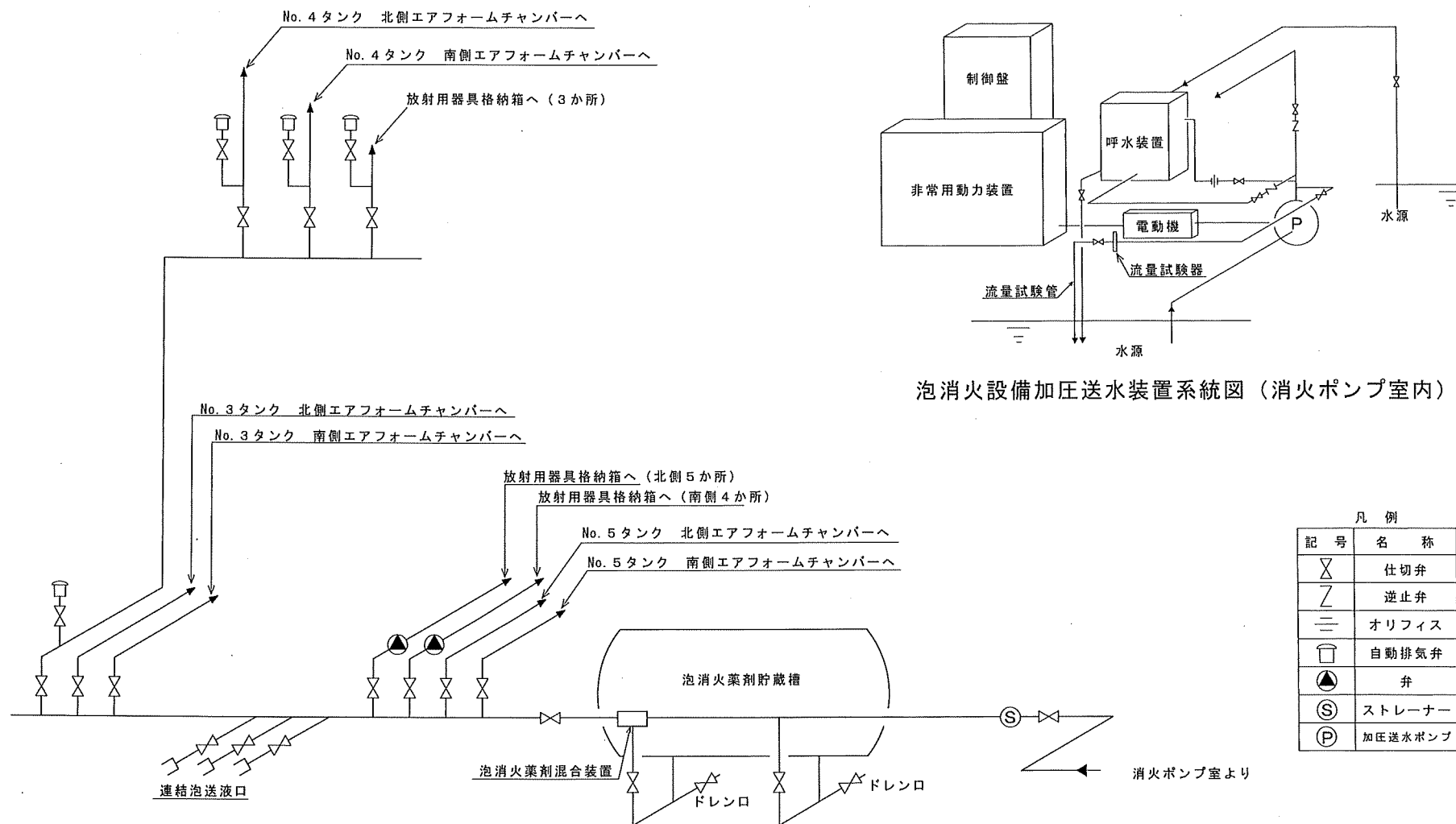
案内図

凡 例	
記 号	名 称
(F _T)	エアフォームチャンバー
	泡放射用器具格納箱（非内蔵） （起動用スイッチを含む）
—F—	消火配管（150A×250m）
-F-	消火配管（80A×55m）
----	補助泡消火栓配管（150φ）



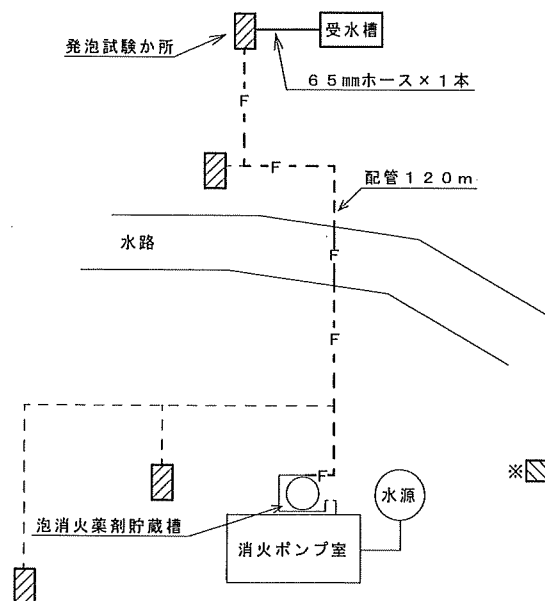
泡消火設備配置図

泡消火薬剤貯蔵槽
 総 容 量：4000L
 泡消火薬剤：日本ドライケミカル耐寒3%
 たん白泡3%型
 消火ポンプ定格吐出量：2900L/min
 放水試験か所吐出量：400L/min



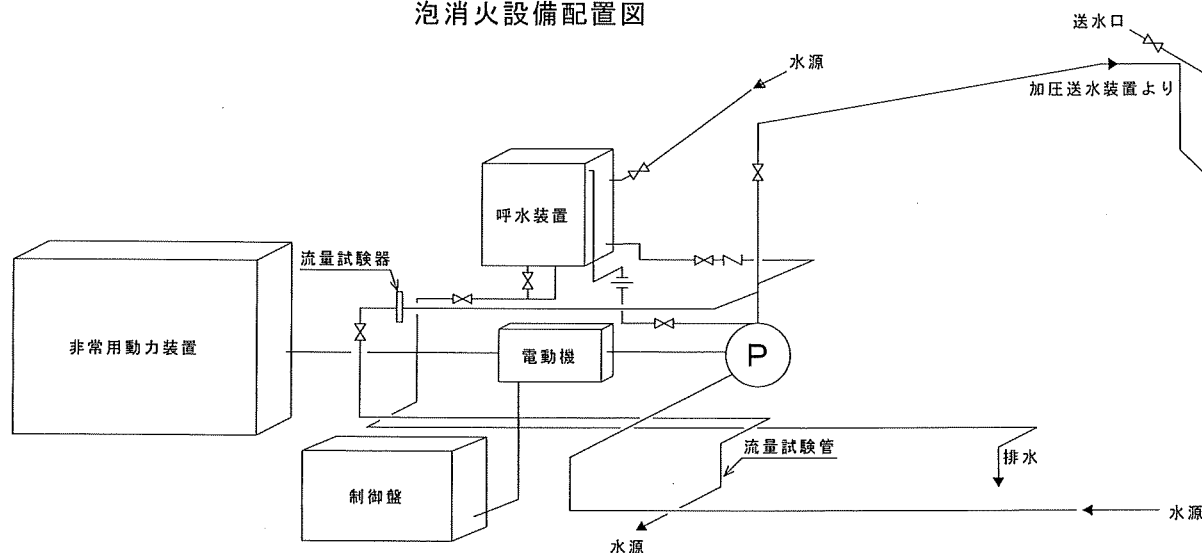
泡消火設備加圧送水装置系統図（消火ポンプ室内）

泡消火薬剤貯蔵槽系統図



泡消火設備配置図

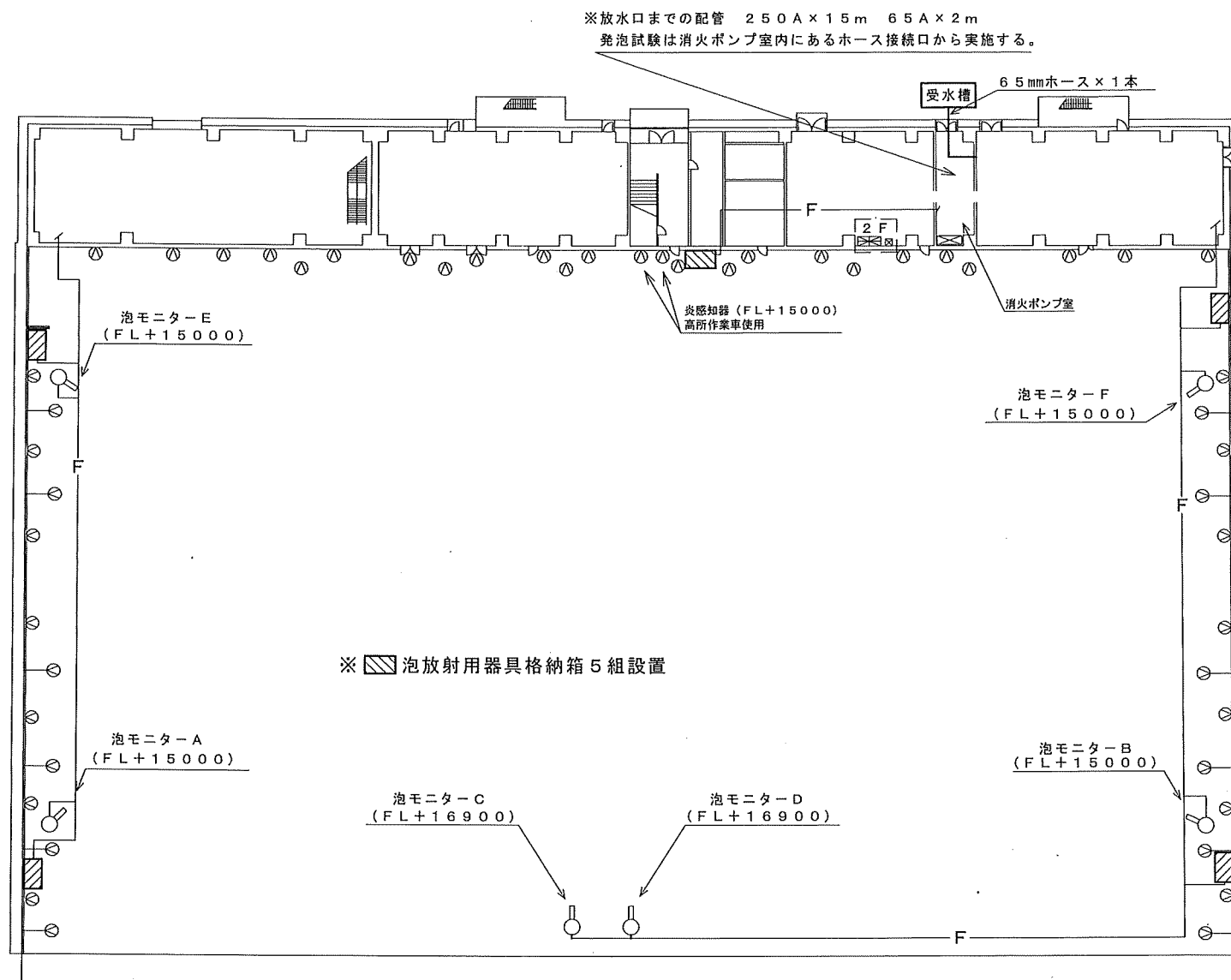
凡 例	
記 号	名 称
	泡放射用器具格納箱 (非内蔵) (起動用スイッチ含む)
---F---	消火配管埋設部分 (80A)
—F—	消火配管 (80A)
	仕切弁
	逆止弁
	オリフィス
	ストレーナー
	加圧送水ポンプ
	ドレン



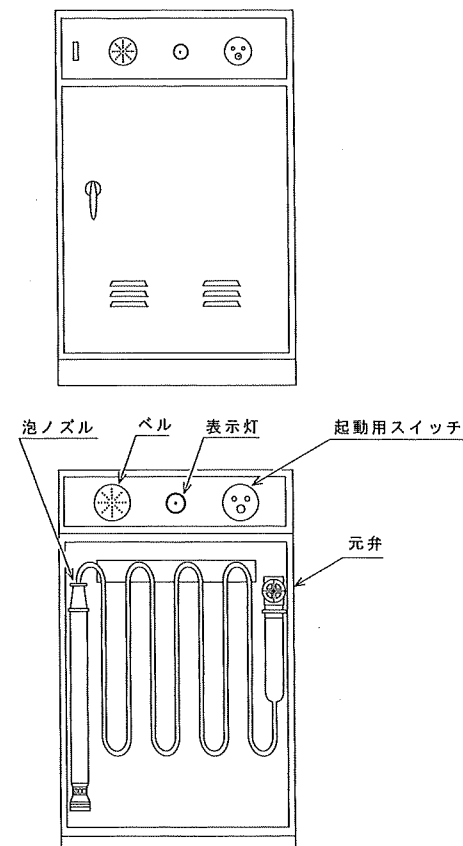
泡消火設備加圧送水装置系統図

泡消火剤貯蔵槽系統図

泡消火薬剤貯蔵槽
 総容量：約1600L
 泡消火薬剤：サーフウォーターⅢ
 水成膜泡3%型
 消火ポンプ定格吐出量：1800L/min
 発泡試験か所吐出量：490L/min

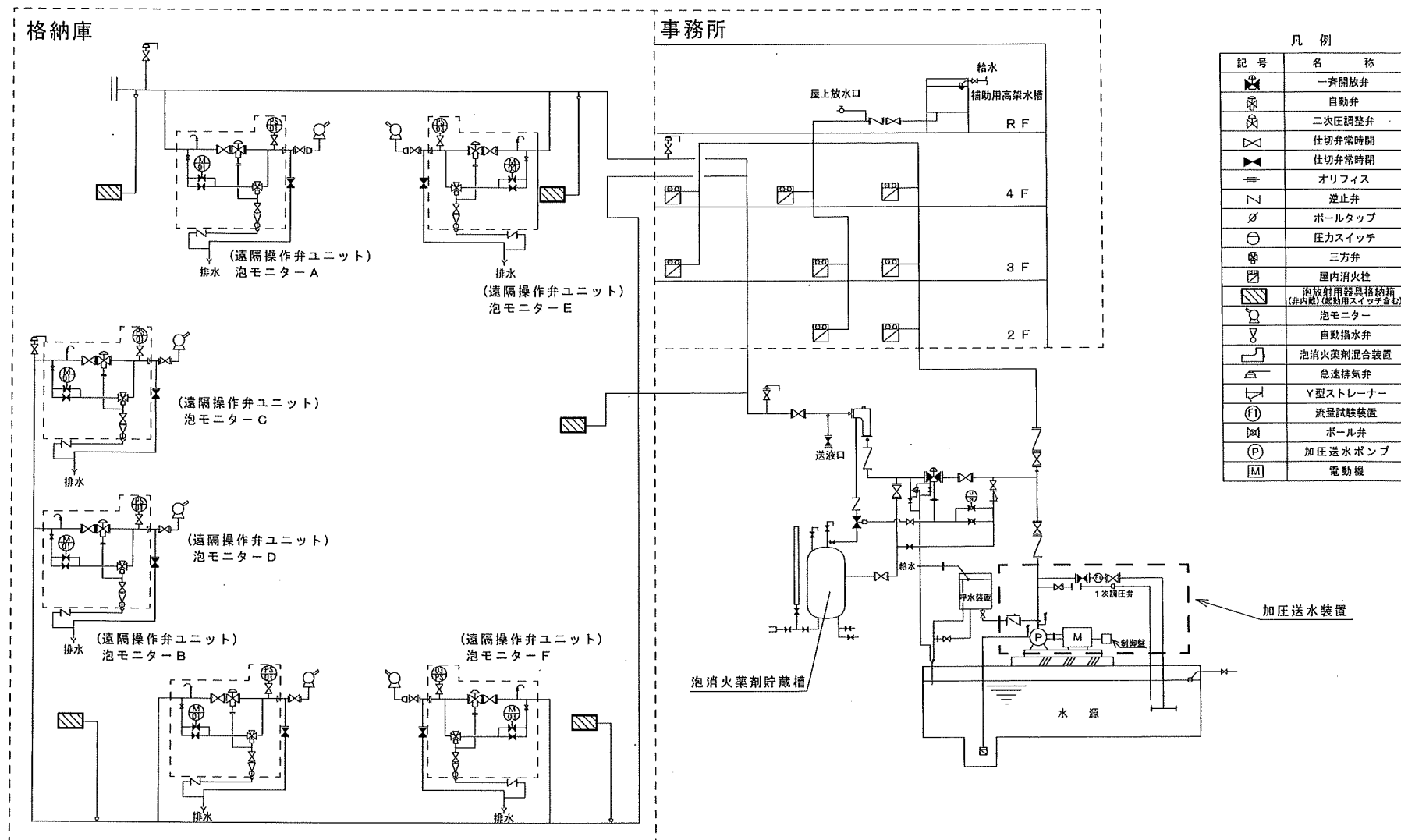


泡消火設備配置図

泡放射用器具格納箱（非内蔵）
概要図

凡 例

記号	名 称
○	泡モニター
△	炎感知器
▨	泡放射用器具格納箱（非内蔵） （起動用スイッチ含む）
⊠	受信機
⊞	泡消火設備操作盤
—F—	消火配管
⊞	加圧送水装置



泡消火設備配管系統図

泡消火薬剤貯蔵槽

総 容 量: 約 5000 L

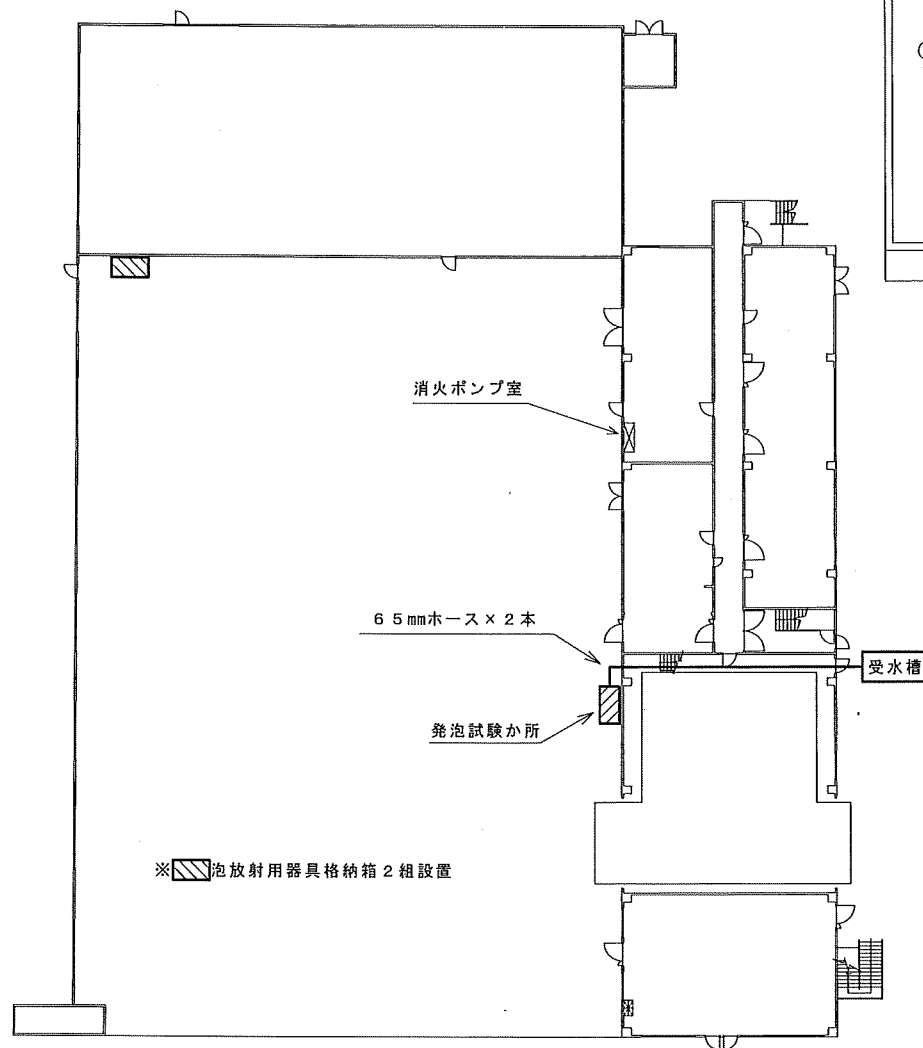
泡消火薬剤: アルファフォーム 310 R

水成膜泡 3 % 型

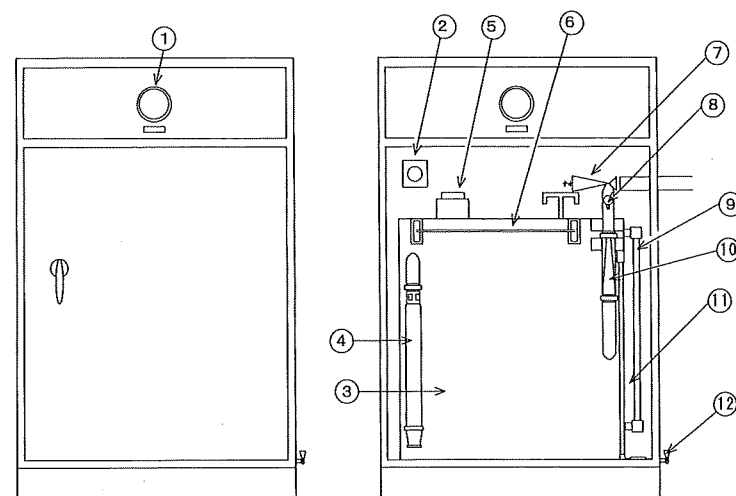
消火ポンプ定格吐出量: 7700 L/min

発泡試験か所吐出量: 350 L/min

作業場所 3

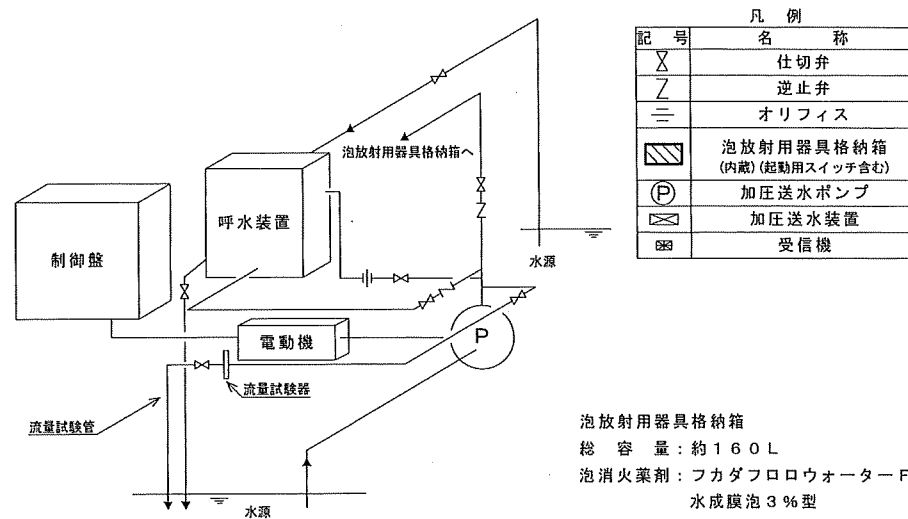


泡消火設備配置図



泡放射用器具格納箱（内蔵）概要図

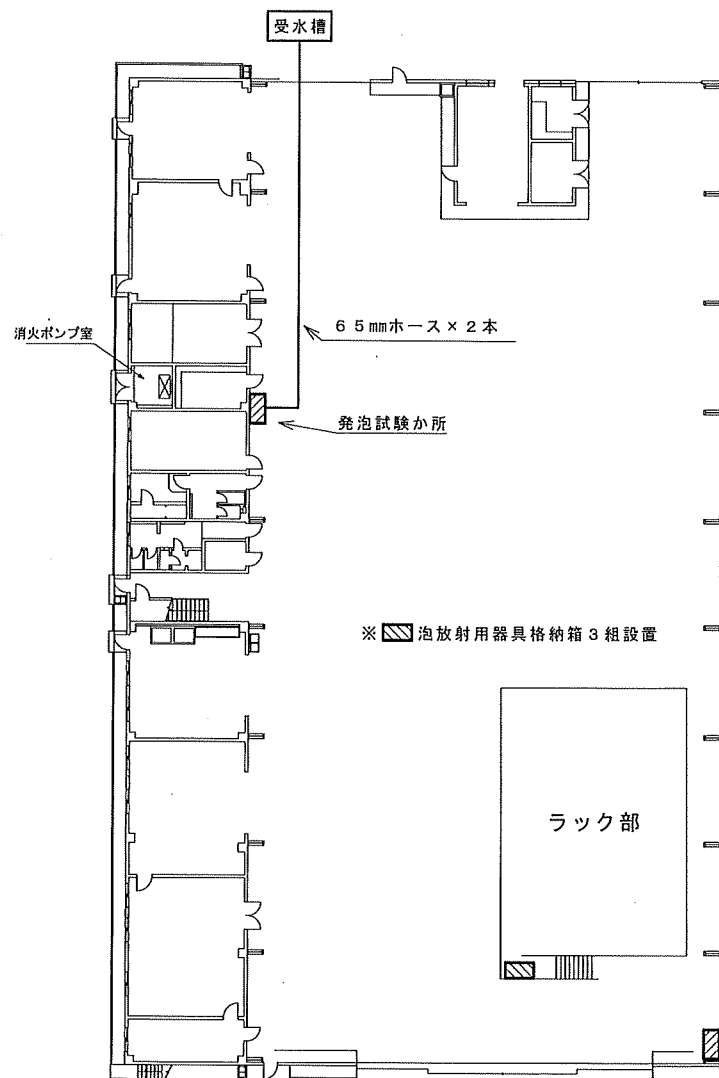
※泡放射用器具格納箱内配管（65A×1m）



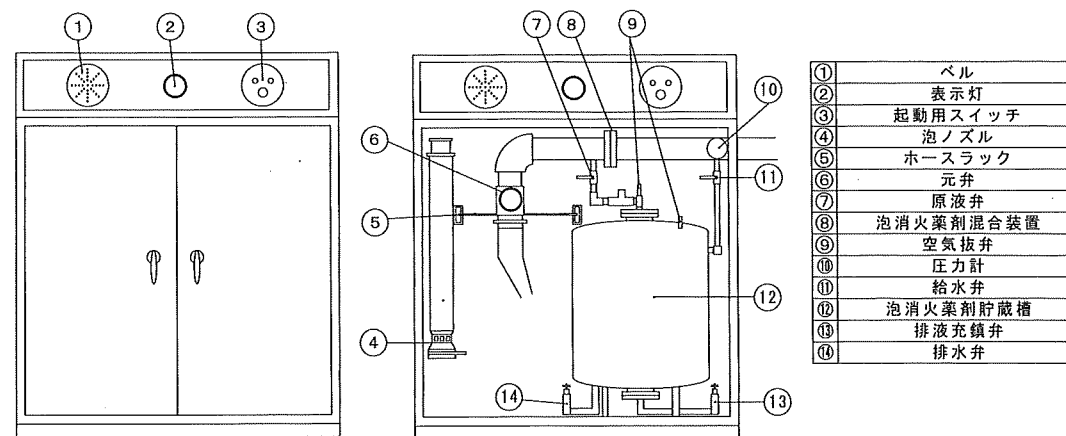
記号	凡例	名称
X	仕切弁	
Z	逆止弁	
三	オリフィス	
泡放射用器具格納箱 (内蔵) (起動用スイッチ含む)		
P	加圧送水ポンプ	
加圧送水装置		
受信機		

泡放射用器具格納箱
 総容量：約160L
 泡消火薬剤：フカダフロロウオーターF
 水成膜泡3%型
 消火ポンプ定格吐出量：900L/min
 発泡試験か所吐出量：374L/min

泡消火設備加圧送水装置系統図

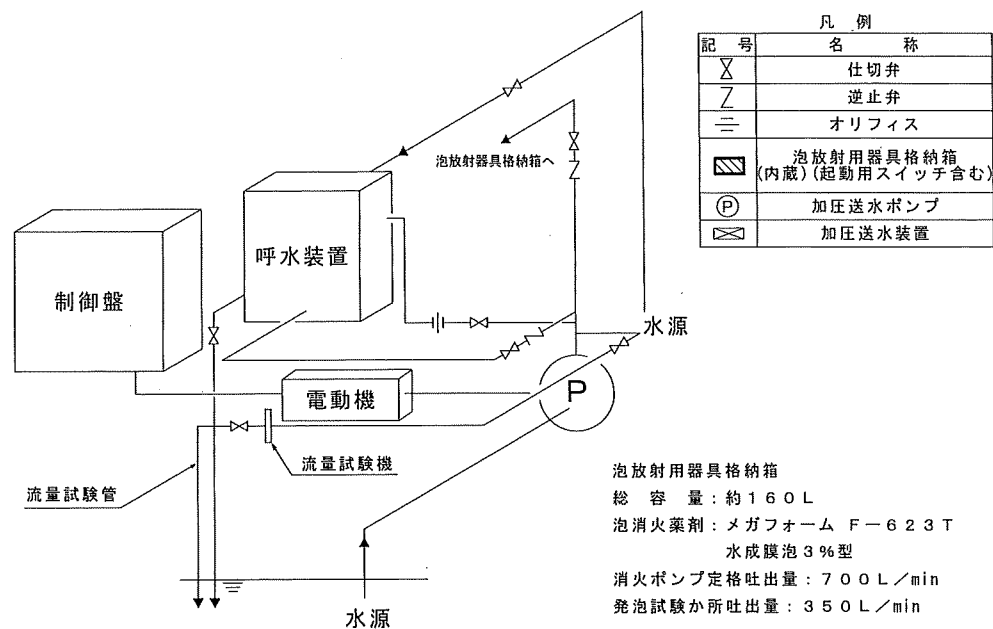


泡消火設備配置図

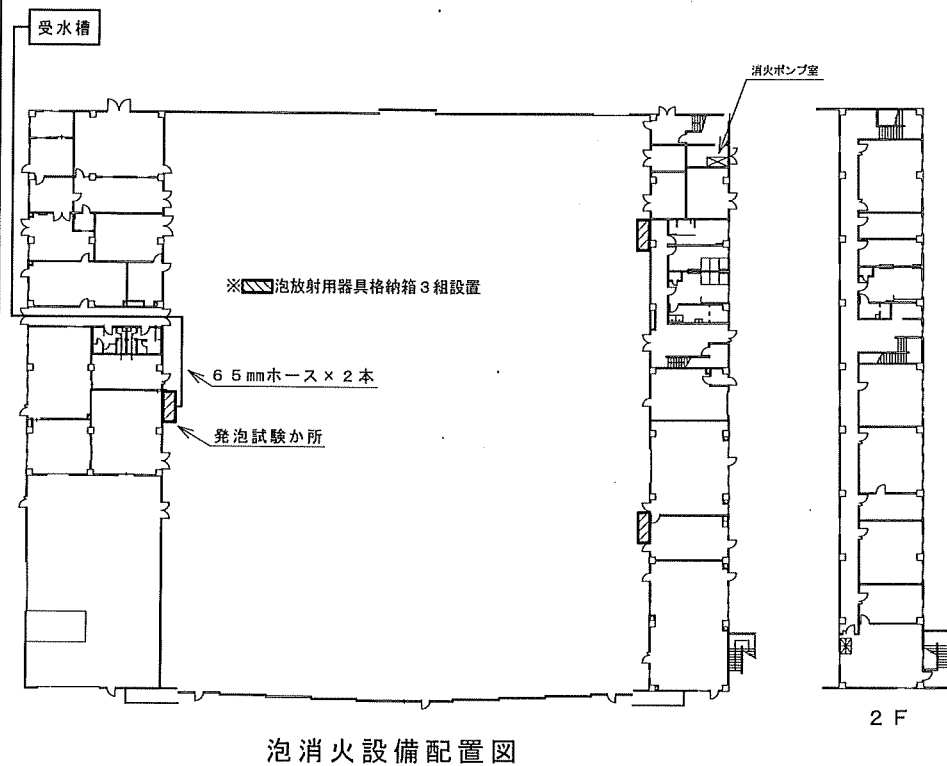


泡放射用器具格納箱（内蔵）概要図

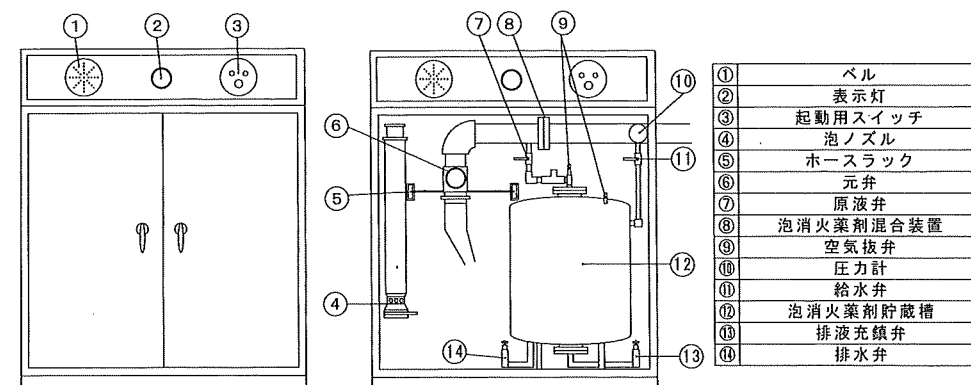
※泡放射用器具格納箱内配管（6.5A×1m）



泡消火設備加圧送水装置系統図

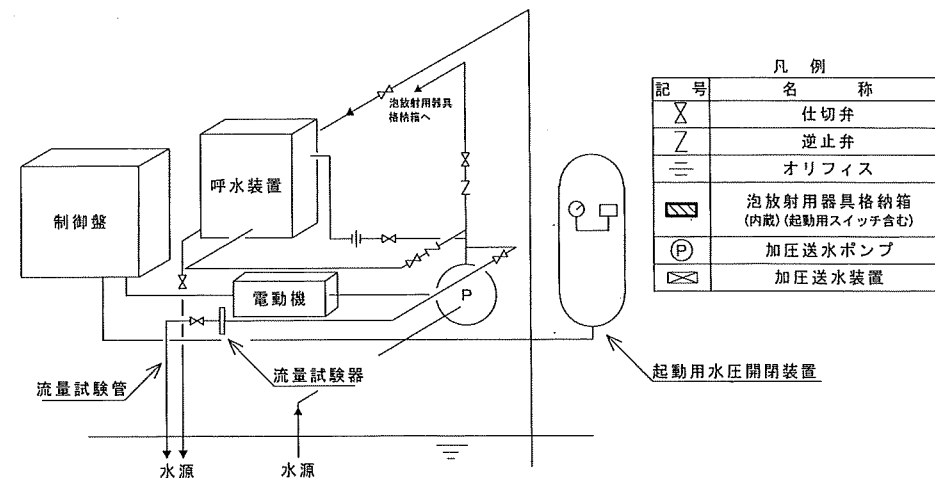


泡消火設備配置図



泡放射用器具格納箱（内蔵）概要図

※泡放射用器具格納箱内配管（65A×1m）



泡放射用器具格納箱

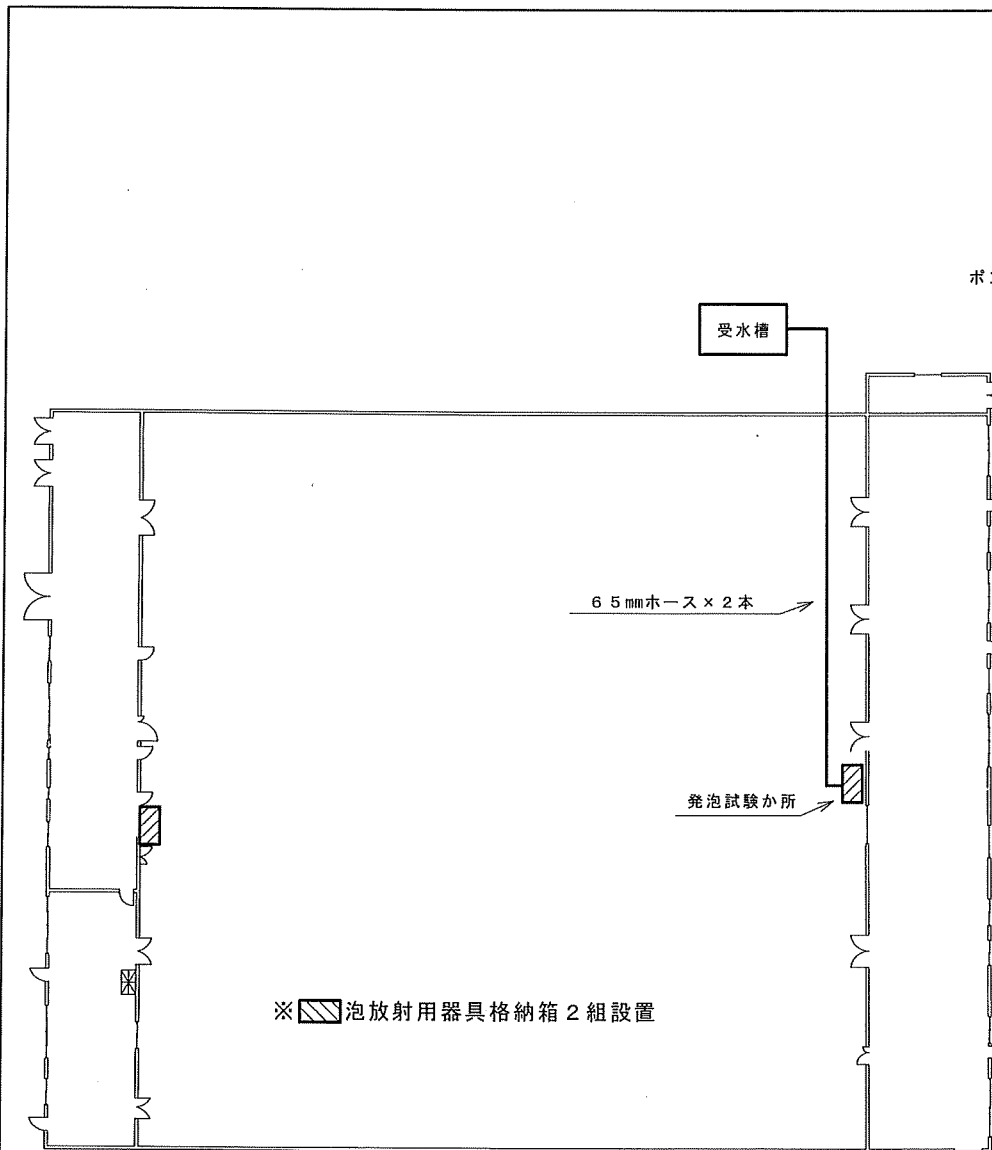
総容量：約160L

泡消火薬剤：アルファフォーム310X

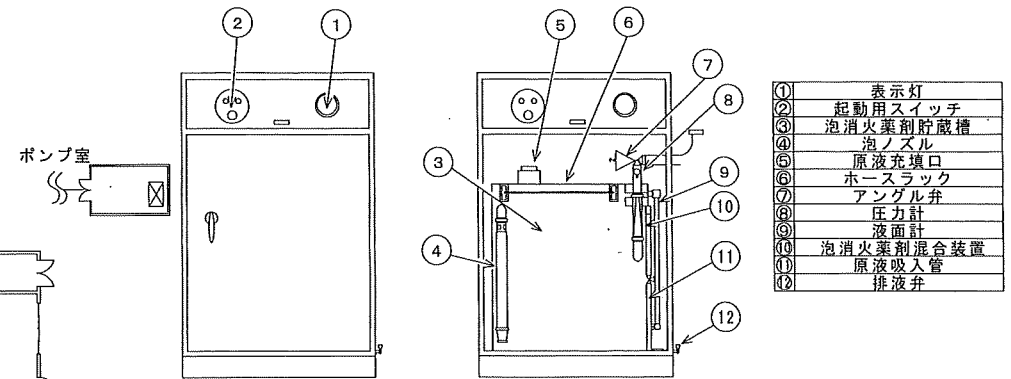
水成膜泡3%型

消火ポンプ定格吐出量：800L/min

発泡試験か所吐出量：350L/min

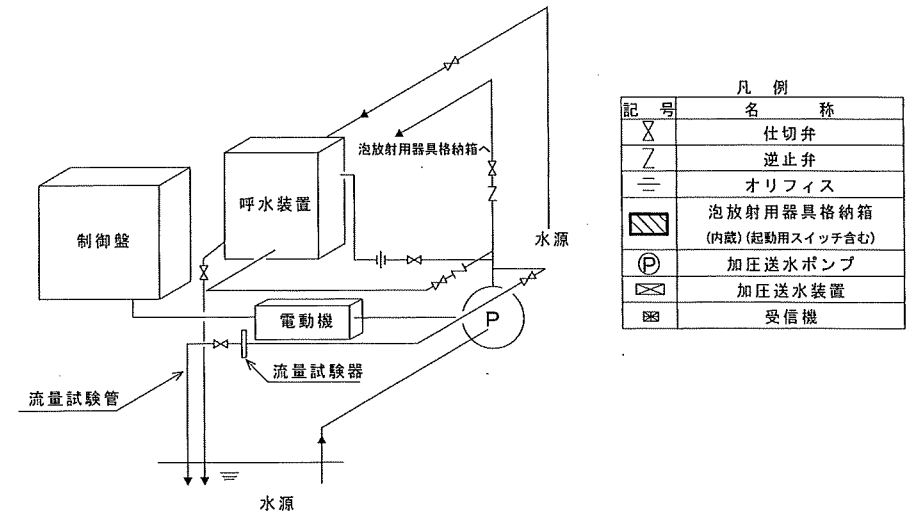


泡消火設備配置図



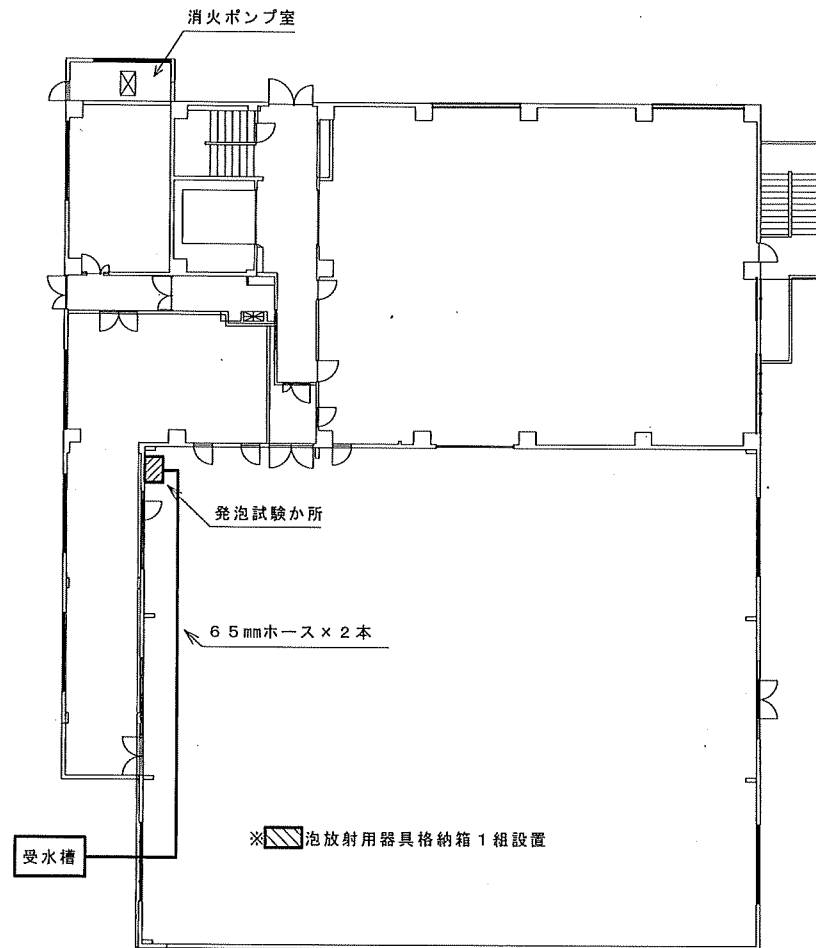
泡放射用器具格納箱（内蔵）概要図

※泡放射用器具格納箱内配管（65A×1m）

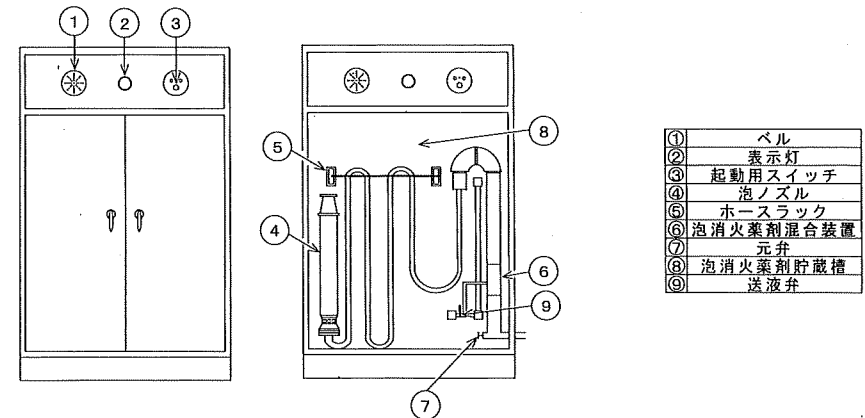


泡消火設備加圧送水装置系統図

泡放射用器具格納箱
総容量：約160L
泡消火薬剤：フカダフロウオーターF
水成膜泡3%型
消火ポンプ定格吐出量：750L/min
発泡試験か所吐出量：387L/min

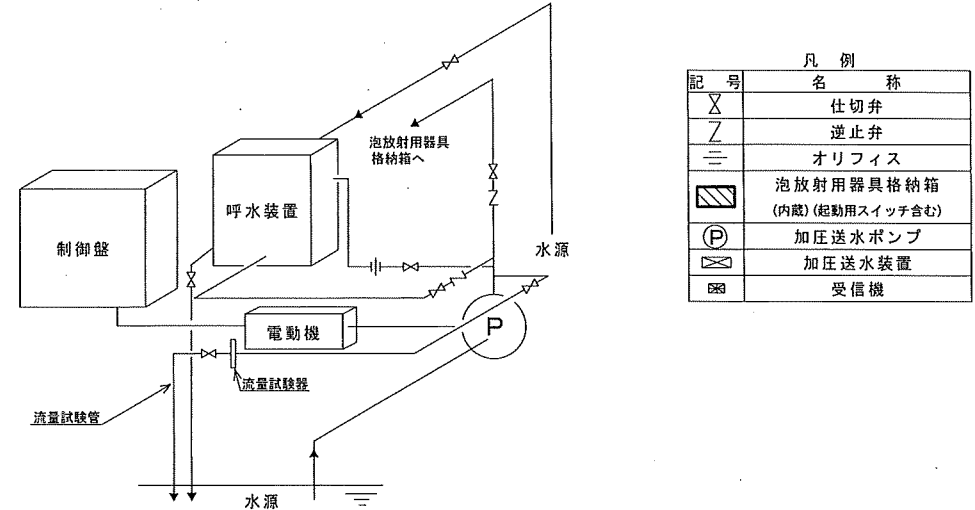


泡消火設備配置図



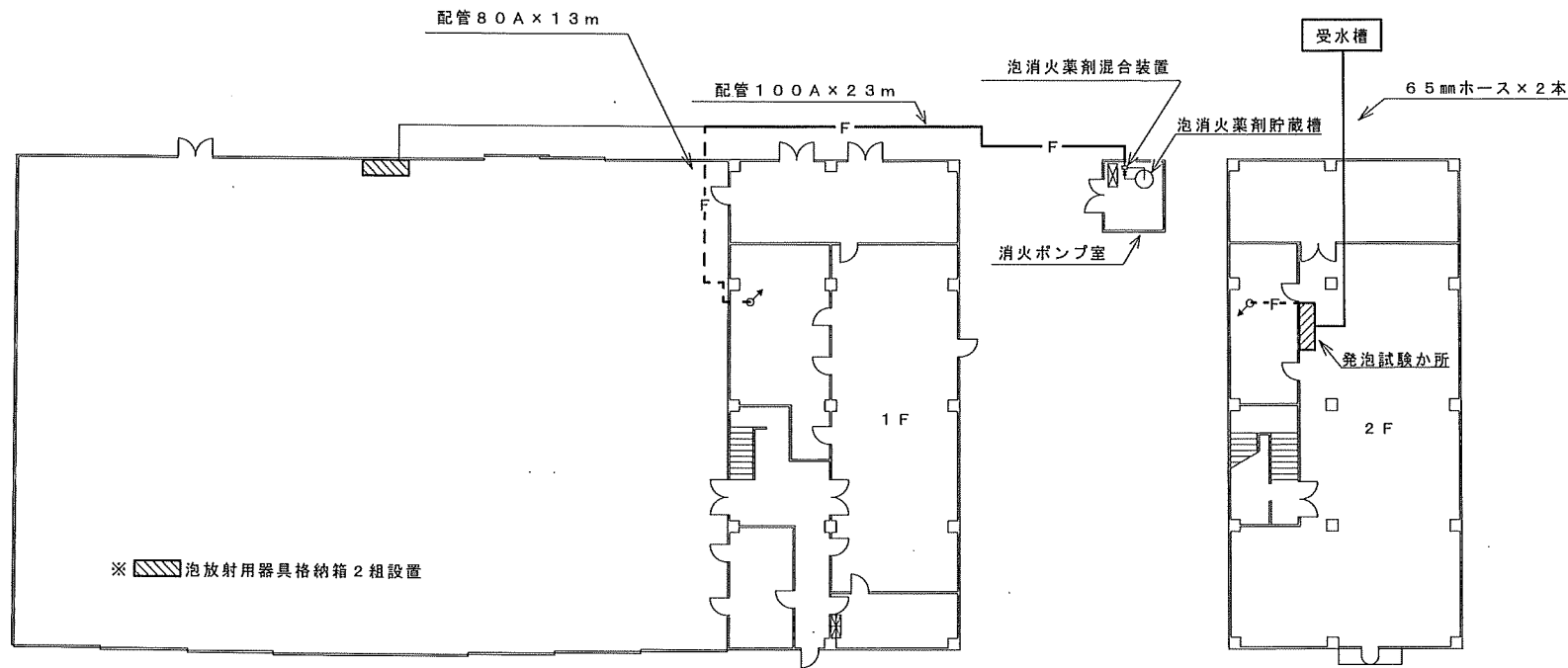
泡放射用器具格納箱（内蔵）概要図

※泡放射用器具格納箱内配管（6.5A×1m）



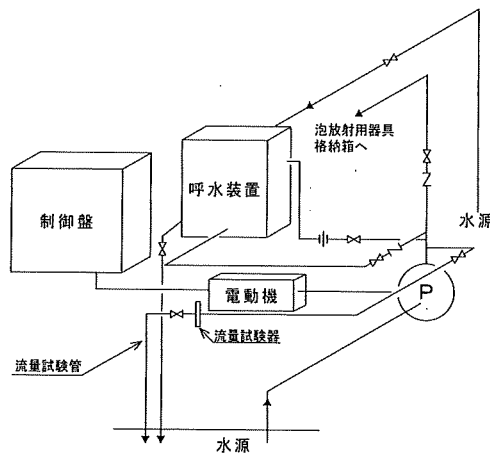
泡消火設備加圧送水装置系統図

泡放射用器具格納箱
 総容量：約160L
 泡消火薬剤：サーフウォーターⅢ
 水成膜泡3%型
 消火ポンプ定格吐出量：350L/min
 発泡試験か所吐出量：230L/min

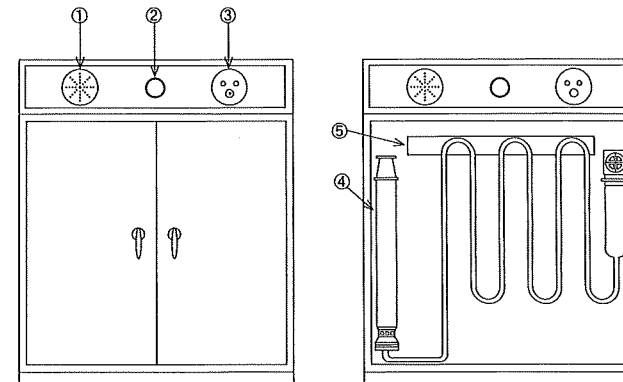


凡 例	
記 号	名 称
— F —	消火配管
♂	消火配管立上げ
♀	消火配管引下げ
	泡放射用器具格納箱 (非内蔵) (起動用スイッチ含む)
X	仕切弁
Z	逆止弁
≡	オリフィス
	加圧送水装置
	受信機
(P)	加圧送水ポンプ

泡消火設備配置図



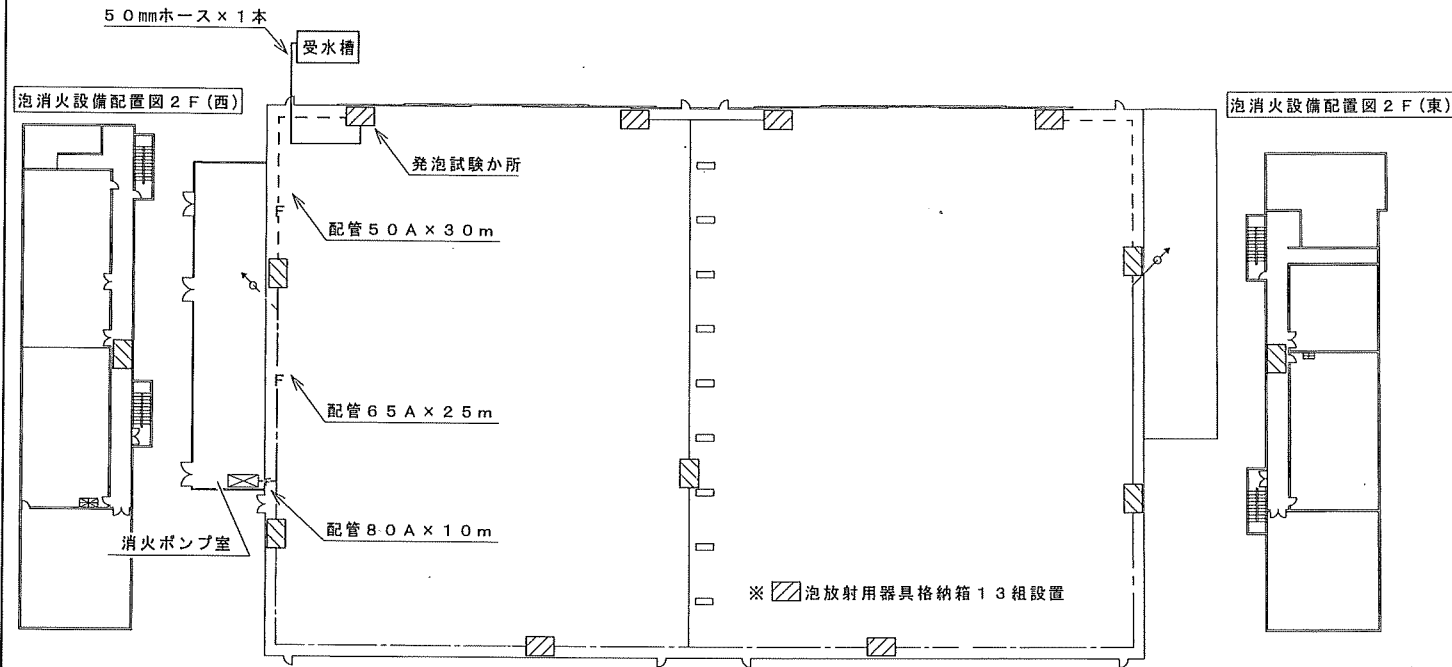
泡消火設備加圧送水装置系統図



泡放射用器具格納箱（非内蔵）概要図

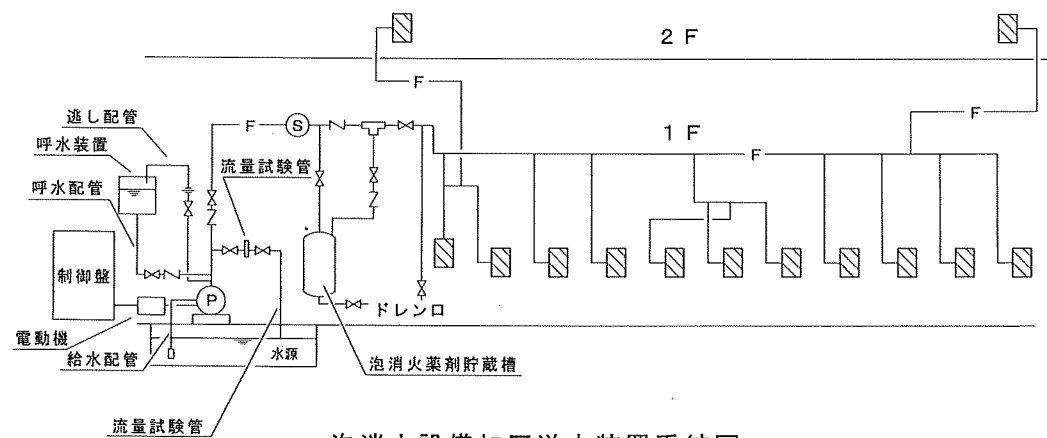
記号	名 称
①	ベル
②	表示灯
③	起動用スイッチ
④	泡ノズル
⑤	ホースラック
⑥	元弁

泡放射用器具格納箱
 総 容 量：約 400 L
 泡消火薬剤：フカダフロウオーターF
 水成膜泡 3% 型
 消火ポンプ定格吐出量：800 L/min
 発泡試験か所吐出量：470 L/min



凡 例	
記 号	名 称
	泡放射用器具格納箱 (非内蔵) (起動用スイッチ含む)
- - F - -	消火配管 (50A)
— F —	消火配管 (65A)
--- F ---	消火配管 (80A)
	消火配管立上げ
	受信機
	副受信機
	加圧送水装置

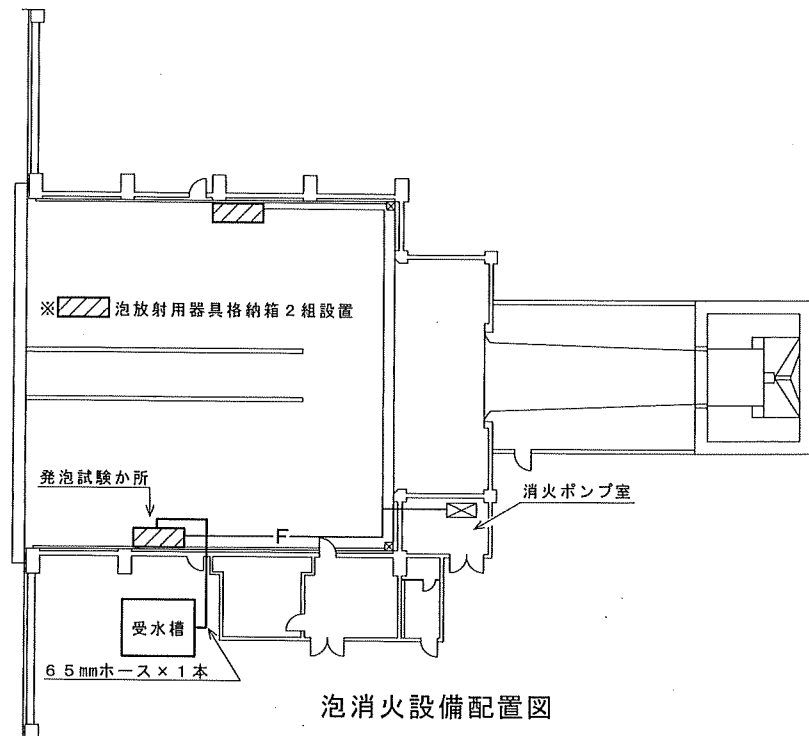
泡消火設備配置図



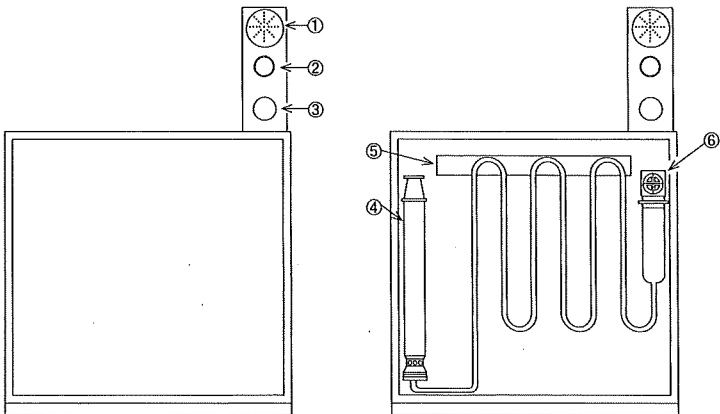
凡 例	
記 号	名 称
	泡放射用器具格納箱 (非内蔵) (起動用スイッチ含む)
- F -	消火配管
	仕切弁
	逆止弁
	オリフィス
	泡消火薬剤混合装置
	ストレーナ
	加圧送水ポンプ

泡消火設備加圧送水装置系統図

放射用器具格納箱
 総 容 量：約 810 L
 泡消火薬剤：アルファフォーム 310 X
 水成膜泡 3% 型
 消火ポンプ定格吐出量：800 L/min
 発泡試験か所吐出量：200 L/min

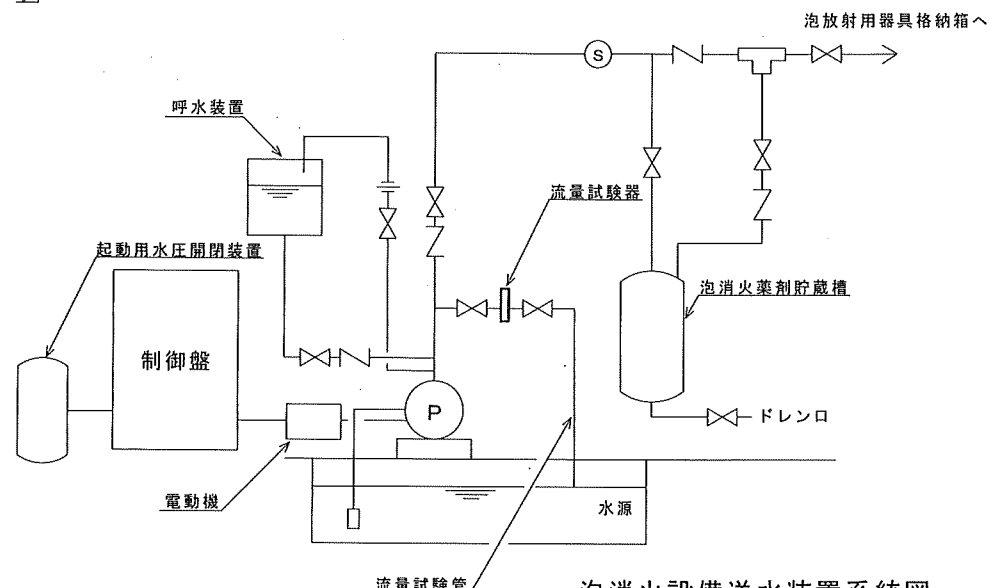


泡消火設備配置図



泡放射用器具格納箱（非内蔵）概要図

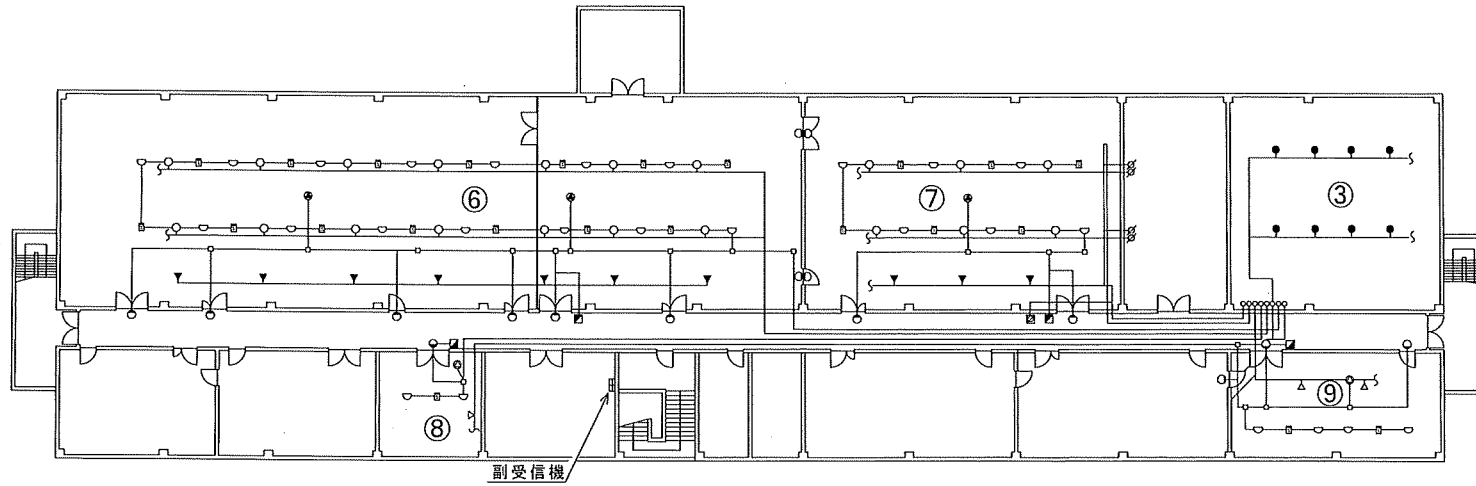
記 号	名 称
①	ベル
②	表示灯
③	起動装置
④	泡ノズル
⑤	ホースラック
⑥	元弁



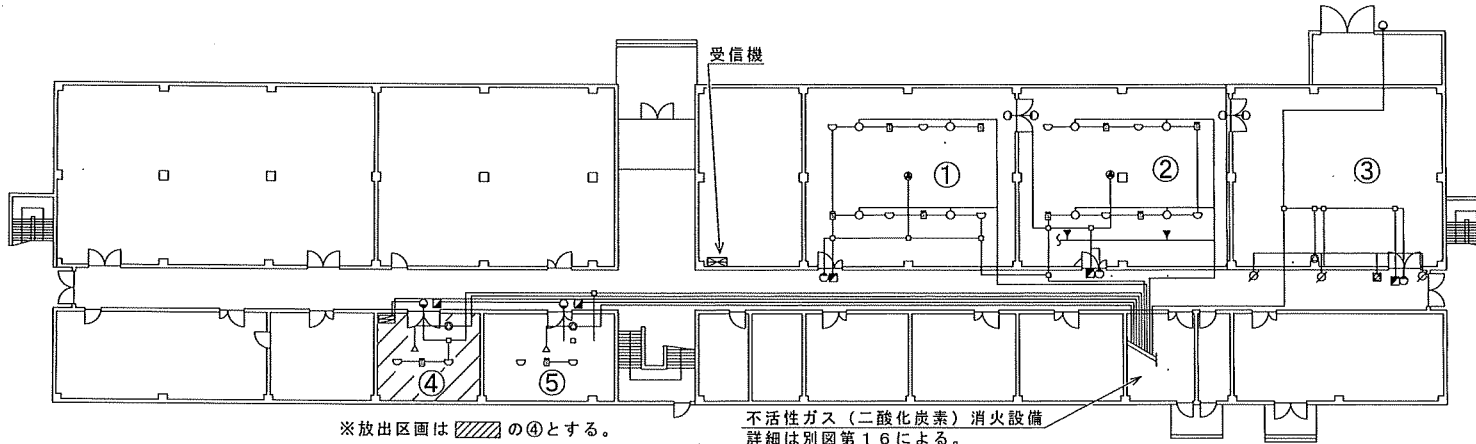
泡消火設備送水装置系統図

凡 例	
記 号	名 称
—F—	消火配管 (80A x 20m)
×	仕切弁
Z	逆止弁
≡	オリフィス
(S)	ストレーナー
T	泡消火薬剤混合装置
▨	泡放射用器具格納箱 (非内蔵) (起動用スイッチ含む)
⊠	加圧送水装置
(P)	加圧送水ポンプ

泡消火薬剤貯蔵槽
総容量：約 400L
泡消火薬剤：フカダフロウォーターF
水成膜泡 3% 型
消火ポンプ定格吐出量：800L/min
発泡試験か所吐出量：527L/min



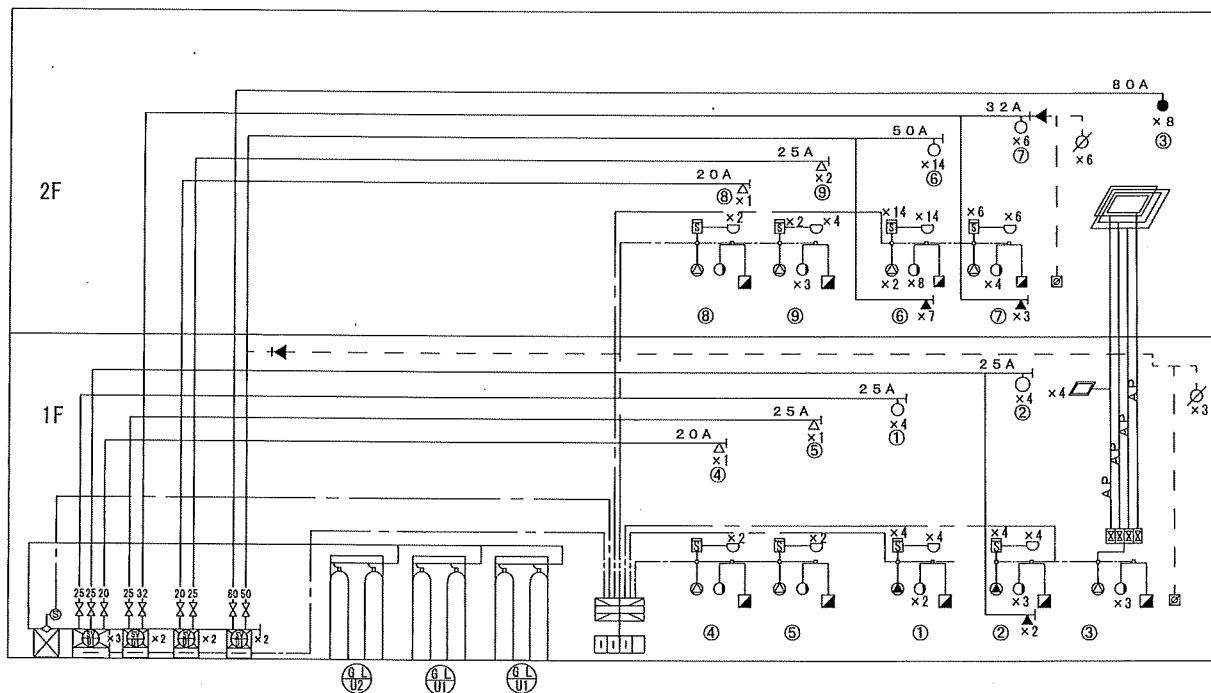
不活性ガス（二酸化炭素）消火設備配置図 2 F



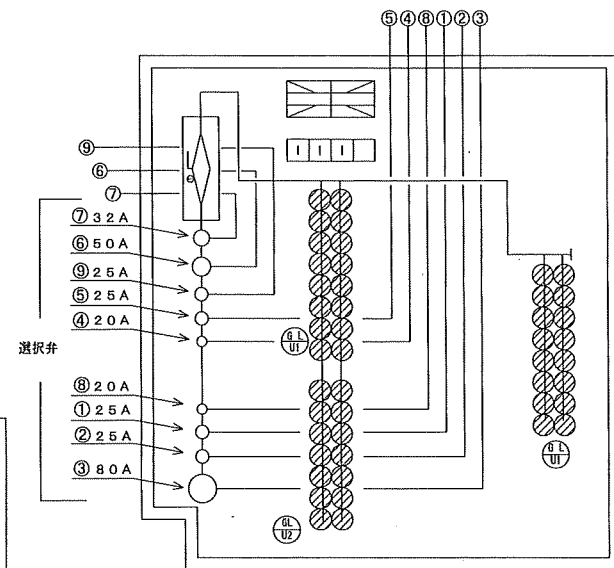
不活性ガス（二酸化炭素）消火設備配置図 1 F

凡 例			凡 例		
記号	名 称	備 考	記号	名 称	備 考
■	起動用操作箱	バルブ開閉表示付	▽	定温式スポット型感知器	1種75℃
⑤	音響装置（スピーカー）	④天井型	◀	ヘッド（噴射ヘッド）	10SB
□	開口部自動閉鎖装置（ダンパー）	ピストンレリーフ	◀	ヘッド（噴射ヘッド）	2.0, 2.5SA
■	ダンパー制御装置		●	ヘッド（噴射ヘッド）	3.2PNF
■	ダンパー復旧弁箱		○	ヘッド（噴射ヘッド）	2.0, 2.5PNE
○	放出表示灯箱	光電式			
[S]	煙感知器				

※消火剤貯蔵容器（ボンベ）設置総数 46 基
放出区画対象数 46 基のうち 11 基



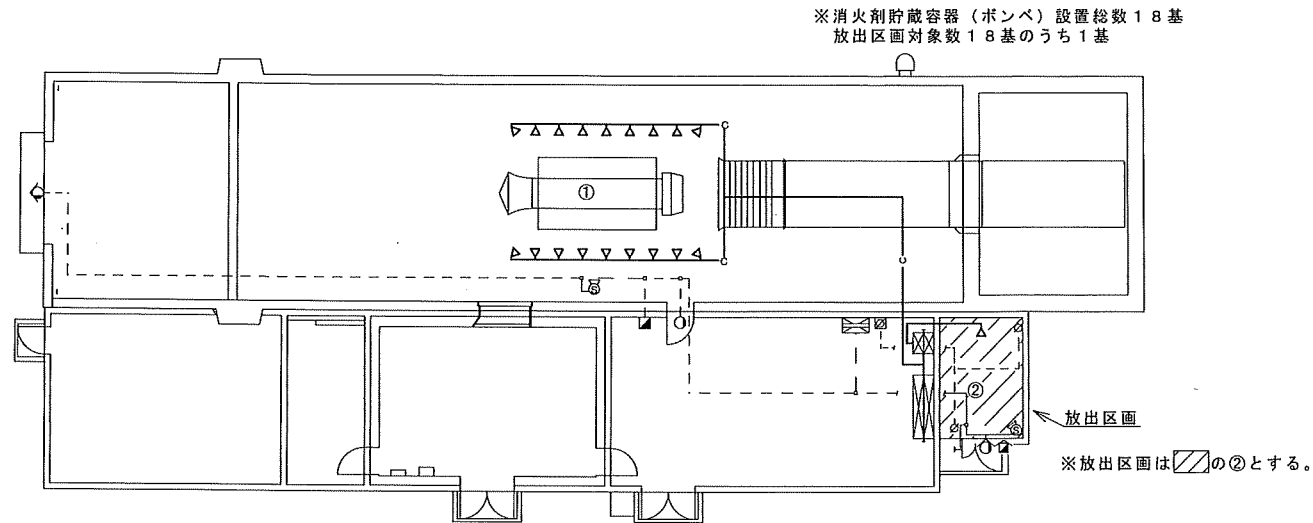
不活性ガス（二酸化炭素）消火設備系統図



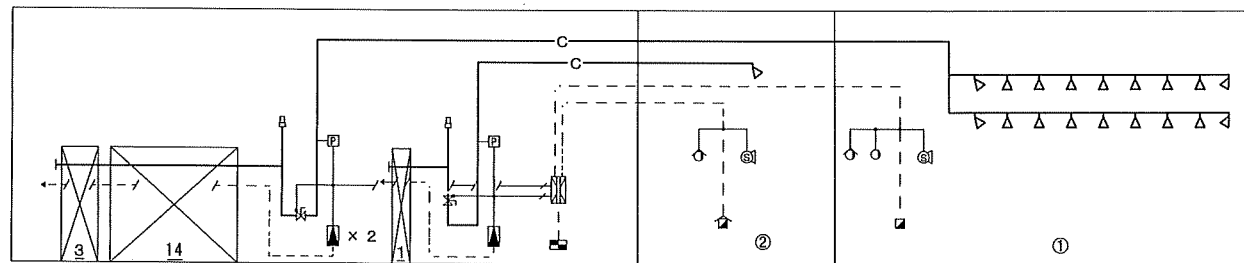
不活性ガス（二酸化炭素）消火設備ポンベ室

凡 例

記号	名 称	備 考
(GL UI)	45kg/68L 消火剤貯蔵容器（二酸化炭素） 容器弁開放装置（ガス圧式）	16本ユニット
(GL U2)	45kg/68L 消火剤貯蔵容器（二酸化炭素） 容器弁開放装置（ガス圧式）	14本ユニット
(SV UI)	選択弁ユニット 容器弁開放装置（電磁式）	
■	起動用ガス容器、容器弁ソレノイド、圧カスイッチ	
■	起動用操作箱	バルブ開閉表示付
△	音響装置（壁付型）	
▲	音響装置（天井型）	
■	制御盤（音声盤、表示盤内蔵）	音声警報装置内蔵 誤放出防止回路付
□	電源装置	10AH
←	逆止弁	
◇	開口部自動閉鎖装置（ダンパー）	ピストンレリーフ
□	ダンパー復旧弁箱	
○	放出表示灯箱	
×	選択弁	
▲	ヘッド（噴射ヘッド）	10SB
▲	ヘッド（噴射ヘッド）	20、25SA
●	ヘッド（噴射ヘッド）	32PNF
●	ヘッド（噴射ヘッド）	20、25PHE
□	差動式分布型感知器の検出部	2適用
○	定温式スポット型感知器	1種75℃
■	煙感知器	光電式
■	端子箱	
■	安全装置	
■	緊急閉止弁	開閉接点付
AP	空気管	
—	配管	
—	鋼管	
—	配線	



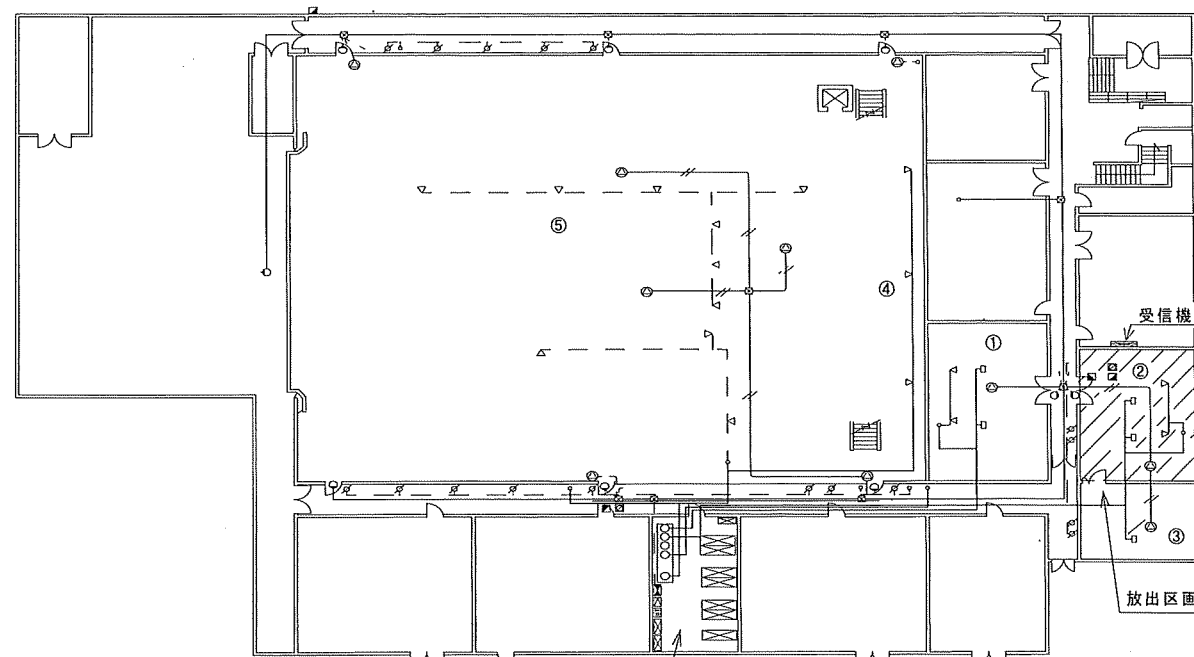
不活性ガス（二酸化炭素）消火設備配置図



不活性ガス（二酸化炭素）消火設備系統図

凡 例

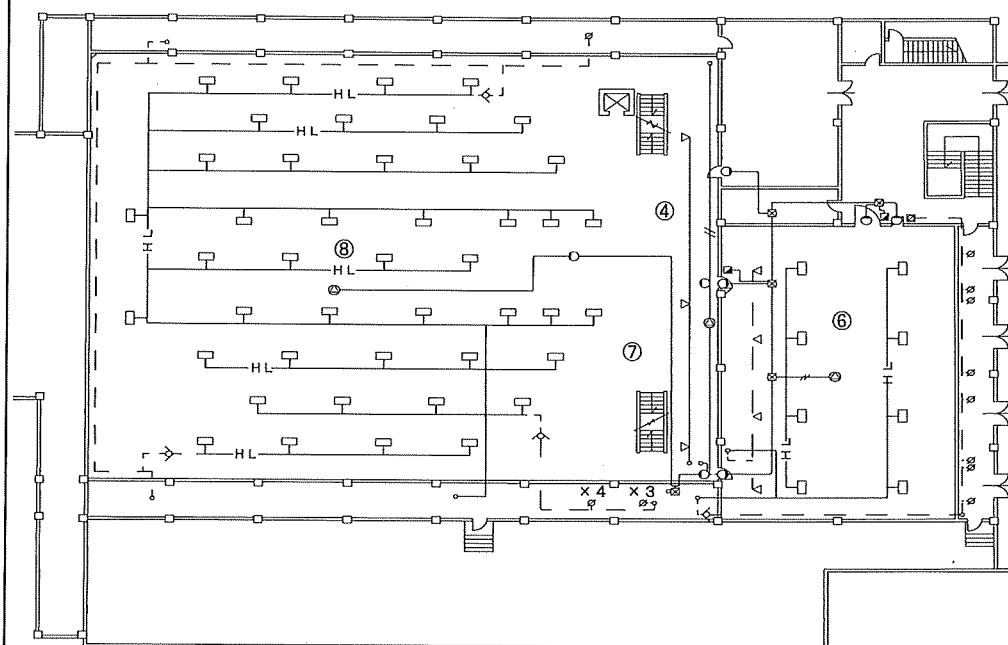
記 号	名 称	記 号	名 称
☒	消火剤貯蔵容器（二酸化炭素45kg/68L × 1基）	☒	消火剤貯蔵容器（二酸化炭素45kg/68L × 3基） 容器弁開放装置（ガス圧式 × 2個）
☒	消火剤貯蔵容器（二酸化炭素45kg/68L × 14基） 容器弁開放装置（ガス圧式 × 13個）	○ (○)	放出表示灯箱（防雨型）
▲	容器弁開放装置（電磁式）	⑤	音響装置（トランペット型）
⊞	安全弁	←	リリーフ弁
⊞	圧カススイッチ	⊘	開口部自動閉鎖装置（ダンパー）
⊞	電源装置（非常電源）	☒	ダンパー復旧弁箱
⊞	制御盤	—c—	二酸化炭素消火配管
☒ (○)	起動用操作箱（防雨型）	---	鋼管
⊞	閉止弁	—	配線
△	ヘッド（噴射ヘッド）		



ハロゲン化物消火設備ポンペ室
(詳細は別図第19参照)

※放出区画は//の②とする。

ハロゲン化物消火設備配置図 1F

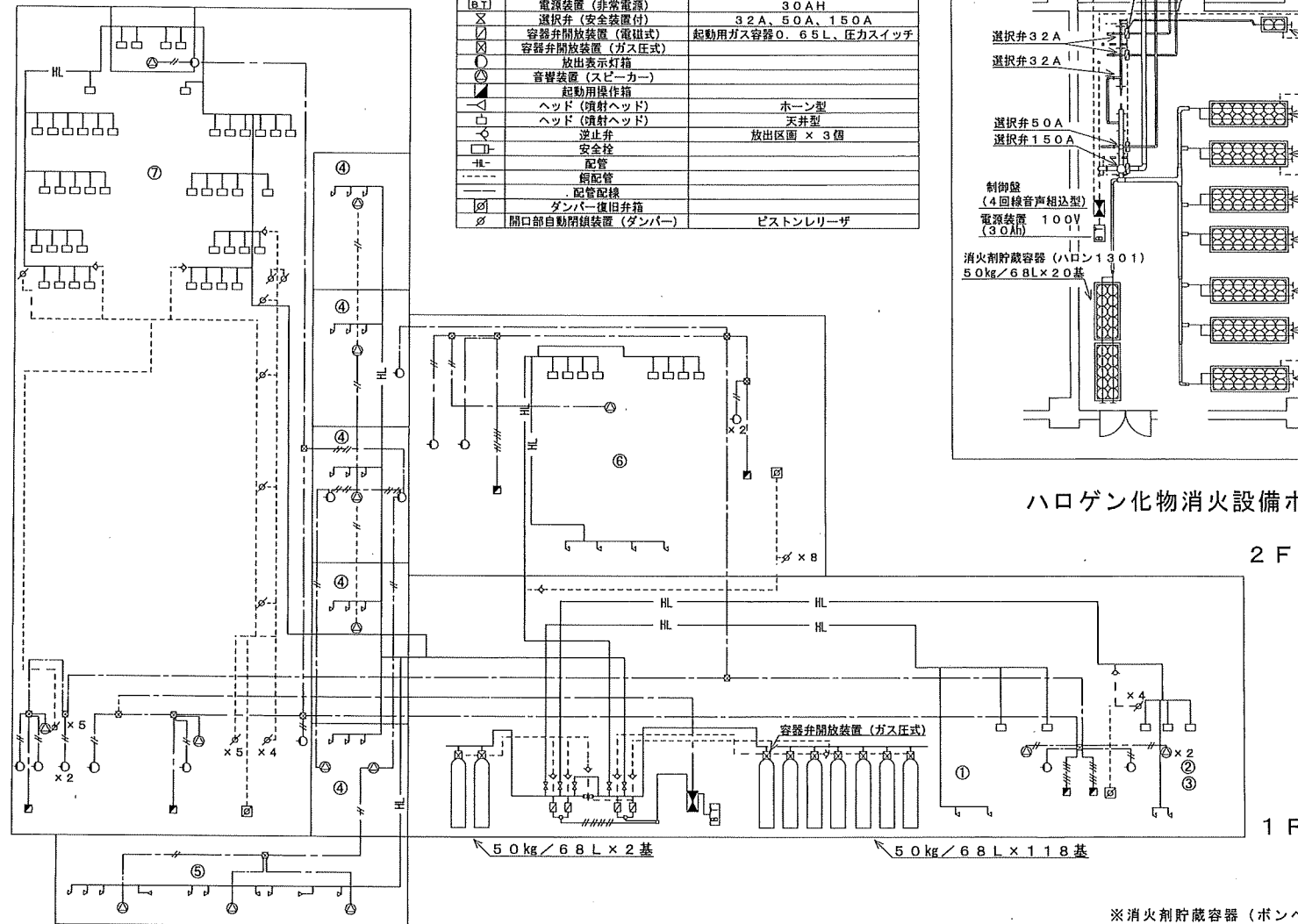


ハロゲン化物消火設備配置図 2F

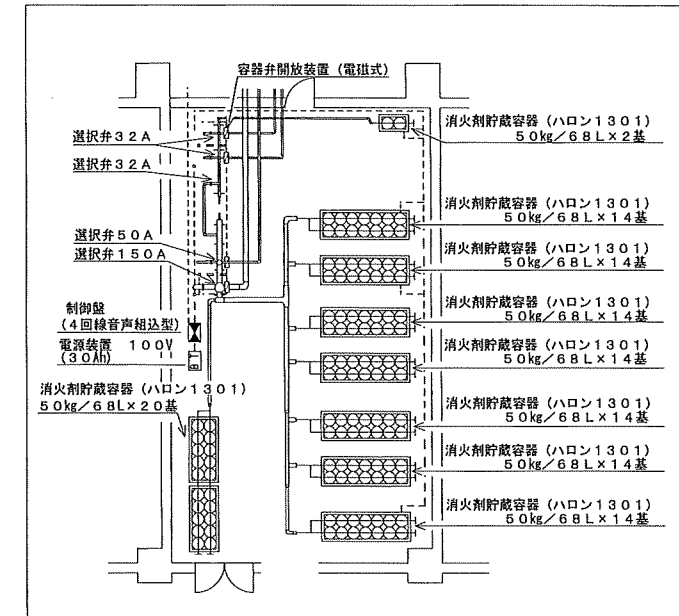
記号	名称	備考
	消火薬剤貯蔵容器及び容器枠	ハロン1301 50kg/68L
	制御盤(音声盤、表示盤を含む)	4回線
	電源装置(非常電源)	30AH
	選択弁(安全装置付)	32A、50A、150A
	開口部自動閉鎖装置(ダンパー)	ピストンレリーザ
	放出表示灯箱	
	音響装置(スピーカー)	
	起動用操作箱	
	ヘッド(噴射ヘッド)	ホーン型
	ヘッド(噴射ヘッド)	天井型
	配管	
	銅配管	
	配管配線	
	ダンパー復旧弁箱	
	逆止弁	
	音声盤	

凡 例

記 号	名 称	備 考
	消火剤貯蔵容器及び容器枠	ハロン1301 50kg/68L×120基
	制御盤(音声盤、表示盤を含む)	4回線
	電源装置(非常電源)	30AH
	選択弁(安全装置付)	32A、50A、150A
	容器弁開放装置(電磁式)	起動用ガス容器0.65L、圧力スイッチ
	容器弁開放装置(ガス圧式)	
	放出表示灯箱	
	音響装置(スピーカー)	
	起動用操作箱	
	ヘッド(噴射ヘッド)	ホーン型
	ヘッド(噴射ヘッド)	天井型
	逆止弁	放出区画 × 3個
	安全栓	
	配管	
	配管配線	
	ダンパー復旧弁箱	
	開口部自動閉鎖装置(ダンパー)	ピストンレリーフ



ハロゲン化物消火設備系統図



ハロゲン化物消火設備ポンベ室詳細図

※消火剤貯蔵容器(ポンベ)設置総数120基
放出区画対象数120基のうち2基